



DEEBOT **X8** Family

取扱説明書/Instruction Manual

取扱説明書..... JA | P04

Instruction Manual EN | P31

安全に関する重要注意事項

安全に関する重要注意事項

本製品を使用する際は、以下を含む基本的な取扱注意事項に必ず従ってください。

本製品のご使用前に、取扱説明書を必ずお読みください

本取扱説明書は大切に保管してください

1. 本製品は、身体能力、感覚能力、または知力に障がいをお持ちの方、経験や知識の少ない方(お子様を含む)の使用を想定していません。ただし、上記の使用者の安全について責任を負う方により、本製品の使用方法に関する指導または説明を受けている場合には、お使いいただけます。
2. お子様が本製品を使って遊ばないようにご注意ください。
3. 掃除する場所を片付けてください。本製品に絡まる可能性のある電源コードや小さな物体は床から取り除いてください。カーペット等の敷物端のふさ飾りは敷物の下に押し込み、カーテンやテールブルクロスなどは床から持ち上げてください。
4. 掃除する領域内に段差や階段のような落下する場所がある場合は、本製品が段差を検知し、端から落下しないかどうかを確認してからご使用ください。段差を検知できない場合、落下を防止

するために段差の縁に囲いを置いてください。段差に置いた囲いにつまずかないように注意してください。

5. 必ず本取扱説明書に記載されている通りに使用してください。メーカーによって推奨あるいは販売されている消耗品・付属品のみを使用してください。
6. ご家庭の屋内でのみ使用するようになしてください。本製品は、屋外使用、商業または産業用途での使用を想定していません。
7. ダストボックスやフィルターを所定の位置に取り付けていない状態で使用しないでください。
8. 火の灯ったロウソクや壊れやすい物のある場所で使用しないでください。
9. 髪、絡まりやすい衣服、指、その他身体の一部を開口部や動いている部分に近づけないでください。
10. 極端な高温環境または低温環境(-5℃未満または40℃超)では使用しないでください。
11. 幼児や子供が眠っている部屋で本製品を使用しないでください。
12. 濡れた床や水が溜まっている床で本製品を使用しないでください。
13. 本製品に石、大きな紙片、その他詰まる可能性のある物体を吸引させないでください。
14. ガソリン、プリンターやコピー機のトナーなど引

- 火性あるいは可燃性の物質を本製品に吸わせないでください。またそのような物が存在する可能性のある場所で使用しないでください。
- 燃えている、または煙が出ている物体（タバコ、マッチ、熱い灰など）を本製品に吸わせないでください。発火の原因となります。
 - 吸入口に異物を入れないでください。吸入口が塞がれている場合は、使用しないでください。吸入口にほこり、糸くず、髪、その他空気の流れを弱める可能性のある物体がたまらないようにしてください。
 - 電源コードが損傷している場合は、危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による交換が必要になります。
 - 本製品の清掃やメンテナンス作業を行う前に、電源スイッチをオフにしてください。
 - CH2453F/CH2453H に適したリチウムバッテリータイプは、最大電池数 8 個、最大公称電圧 DC 14.4V、定格 5,800mAh/4,800mAh です。本製品を破棄する前に、バッテリーを取り外して、ご使用の地域の法規制に従って廃棄する必要があります。
 - 使用済みのバッテリーは、各自治体の指示に従って廃棄するようにしてください。
 - 損傷が激しい場合でも、本製品は焼却しないでください。焼却するとバッテリーが爆発する可能性があります。
 - 本製品は、本取扱説明書の指示に従ってご使用ください。Ecovacs Home Service Robotics は、不適切な使用に起因するいかなる損傷または負傷に対しても一切の責任を負いません。
 - ロボットのバッテリーは熟練者のみが交換できます。ロボットのバッテリーの交換については、サポートセンターまでお問い合わせください。
 - ご使用環境の電源の電圧が、全自動クリーニングステーションに記載されている電圧と一致していることをご確認ください。
 - 本製品に付属する製造元純正の充電バッテリーおよび全自動クリーニングステーションのみを使用してください。充電式ではないバッテリーは使用できません。
 - 電源コードを損傷しないように注意してください。電源コードで本製品や全自動クリーニングステーションを引っ張ったり、電源コードを持ち手にして運んだりしないでください。また電源コードを挟んだままドアを締めたり、鋭利な端や角の周辺で電源コードを引っ張ったりしないでください。電源コードの上で本製品を動作させないでください。電源コードは、熱を持った場所から離れた場所に置いてください。

27. 全自動クリーニングステーションが損傷している場合は使用しないでください。電源に損傷や欠陥がある場合、その電源を修理することも使用することもできません。
28. 電源コードやコンセントに損傷がある場合は使用しないでください。本製品または全自動クリーニングステーションが適切に動作しない場合、または落下、損傷、屋外放置、水濡れなどがあつた場合は、本製品または全自動クリーニングステーションを使用しないでください。危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による修理が必要となります。
29. 全自動クリーニングステーションの清掃やメンテナンス作業前には、コンセントから電源プラグを抜いてください。
30. 本製品を処分する場合は、バッテリーを取り出す前に、本製品を全自動クリーニングステーションから取り外し、本製品の電源スイッチをオフにしてください。
31. 全自動クリーニングステーションを長時間使用しないときは、電源を切ってください。
32. 長期間ロボットを使用しない場合には、ロボットの電源をオフにし、全自動クリーニングステーションから外して保管してください。
33. 警告 - 洗浄水タンクにはきれいな水だけを追加

してください。

34. **警告:** バッテリーの充電には、本製品に付属している取り外し可能電源アダプター CH2453F/CH2453H を必ず使用してください。

高周波 (RF) 曝露に関する要件を満たすために、本デバイスの動作中は本機器と人の間の距離を 20 cm 以上離れたままにする必要があります。

要件を順守するために、この距離よりも近い距離での動作はお勧めしません。この送信器に使用するアンテナは、他のアンテナや送信器と同じ場所に設置しないでください。

デバイスの更新

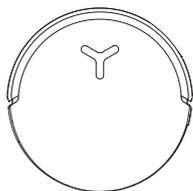
一部のデバイスは、通常、隔月で更新されますが、絶対ではありません。

一部のデバイス、特に発売から 3 年以上経過したデバイスは、重大な脆弱性が見つかって修正された場合にのみ更新されます。

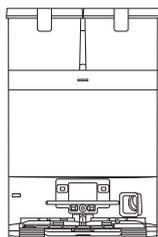
	注意:表面が熱くなります
	短絡防止の安全絶縁変圧器
	スイッチモード電源
	屋内使用専用
	直流
	交流
	充電する前に、取扱説明書をお読みください。
	充電ポートの極性
	遅延ミニチュアヒューズリンク

パッケージ内容

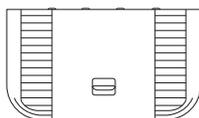
① パッケージ内容



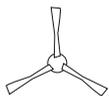
ロボット



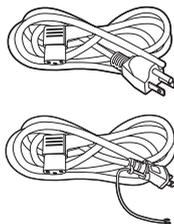
OMNI ステーション



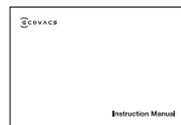
ベース



サイドブラシ



電源コード



取扱説明書

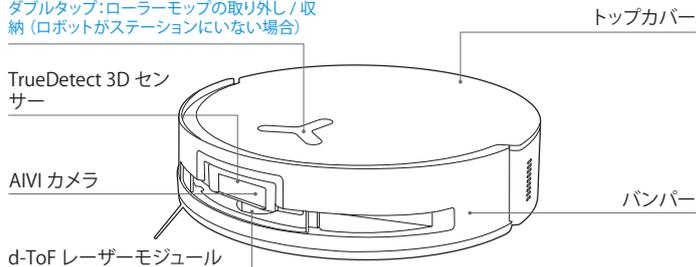
注記:

* 図やイラストは参考用であり、実際の製品とは異なる場合があります。製品のデザインおよび仕様は予告なく変更されることがあります。

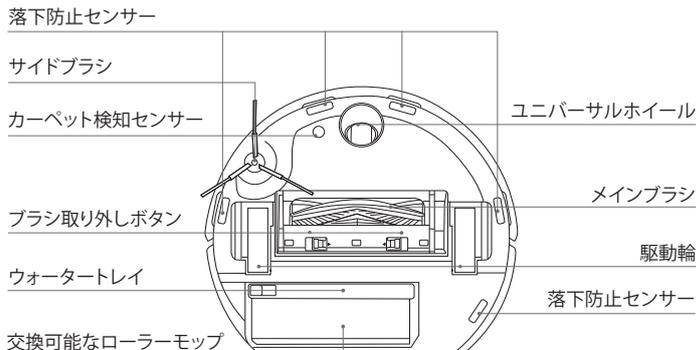
② 製品図

1. ロボットの正面図

ロボットのボタン
短押し: 開始 / 一時停止
3 秒間長押し: 充電に戻る
ダブルタップ: ロールерモップの取り外し / 収納 (ロボットがステーションにいない場合)



2. ロボットの底面図

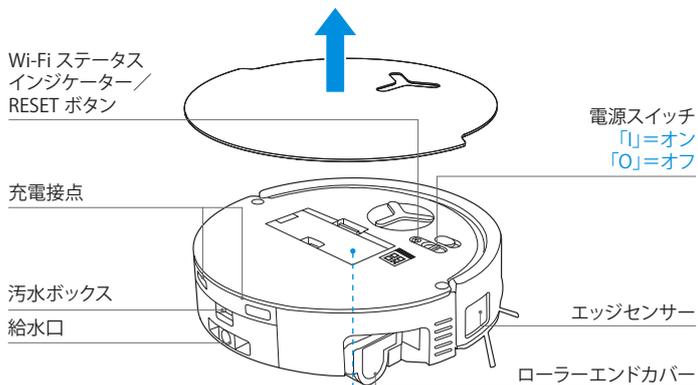


3. 内部図(カバーの下)

リセットボタン

ネットワーク設定: RESET ボタンを押し、音声プロンプトに従ってネットワークを設定します。

デフォルト設定に戻す: RESET ボタンを 5 秒間長押しします。音声プロンプトが聞こえた後、起動音が流れ、ロボットがデフォルト設定に戻ります。



4. ダストボックス

フィルターラッチ



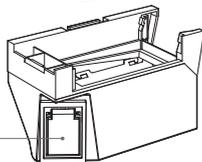
ダストビンカバー

フィルター



フィルターネット

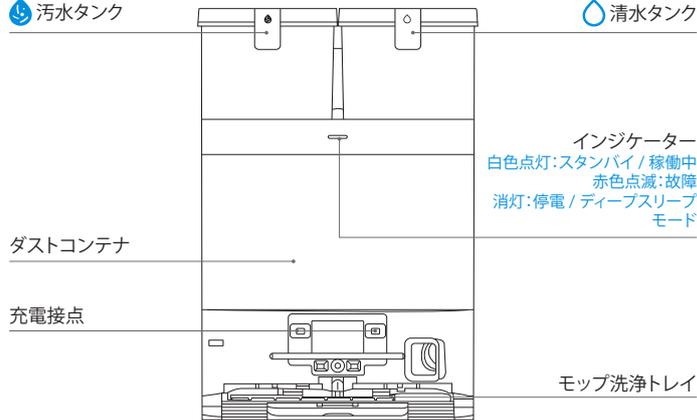
ダスト排出口



5. OMNI ステーション正面図

汚水タンク

清水タンク

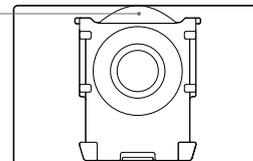


注記:

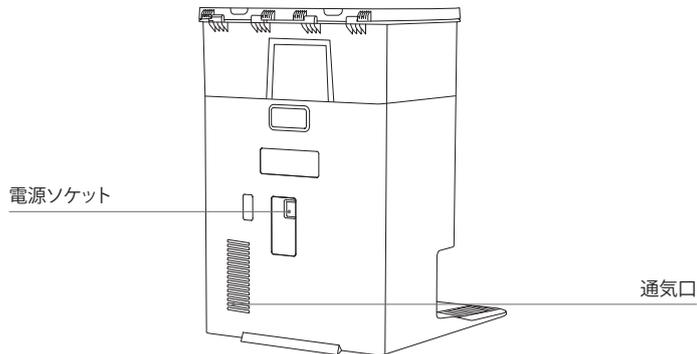
- ・インジケーターが赤く点滅する場合は、ECOVACS HOME アプリで故障の詳細を確認してください。
- ・ロボットが充電できない場合は、OMNI ステーションの充電接点を乾いた布で拭いてください。

6. ストバッグ

ダストバッグハンドル



7. OMNI ステーション背面図



8. センサー

製品図	機能説明
d-ToF レーザーモジュール	レーザー測距は、反射の時間差に基づいてロボットと周囲の物体との距離を測定し、ロボットが移動中に周囲の物体をマッピングすることを可能にします。検知範囲は 12m です。
TrueDetect 3D センサー	センサーは赤外線測距と相似三角形の概念を利用して、赤外線を発射して前方の物体からの光を受信し、物体とロボット間の距離を計算します。センサーが近くの物体を検出すると、ロボットは自動的に方向を変えて物体にぶつからないようにします。検知範囲は 0.3m です。
落下防止センサー	ロボット底部のセンサーは赤外線測距を用いて、ロボットの底面と地面との高さを測定します。例えば、階段の最上部で、白色の床で高さが 55mm 以上、黒色の床で高さが 30mm 以上の場合、ロボットは前進を停止し、落下防止機能を実現します。
カーペット検知センサー	超音波プローブは 300KHZ の超音波を放射でき、超音波のエネルギーはカーペットに吸収されます。反射エネルギーがしきい値以下の場合、ロボットはカーペットの存在を認識します。ECOVACS ラボのテストによると、現在市場で販売されている 50 種類以上のカーペットを識別できます。
衝突防止センサー	送信された信号が障害物によって遮られた場合、受信機は信号を受信できなくなりますこの原理によりロボットは障害物に遭遇すると回避します。
エッジセンサー	ToF 距離測定により、ロボットは自身と右側の物体との距離を検出できます。右側に壁や障害物がある場合、ロボットはエッジクリーニングを行い、掃除の漏れや衝突を回避します。
AIVカメラ	AI カメラを使用して周囲の環境の画像を収集します。 * ビデオ録画を実現します。マイクとの連携により遠隔ビデオ通話が可能になります(一部モデル)。
マイクロフォン	人間の声は空気を通してマイクのダイアフラムを振動させます。その結果、マイクは音声モデルの収集とアルゴリズムを利用して、音声の録音とロボットの音声制御を実現し、特定のタスクを完了します。有効な音声認識距離は 5m です。

掃除前の注意事項

① 警告

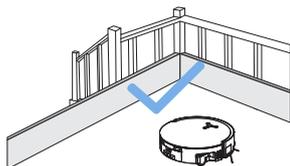


エリアを準備する

掃除するエリアを整理し、椅子などの家具を適切な場所に配置してください。



床にあるケーブル、布、スリッパなどは片付けると、掃除の効率が向上します。

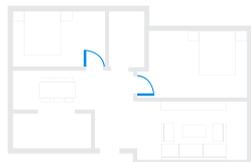


防護バリアを設置する

ロボットが落下しないように、急な段差の端には物理的なバリアを設置する必要があります。



タassel付きのラグやカーペットの上で製品を使用する前に、ラグを折り畳んでタasselをラグの下に押し込んでください。

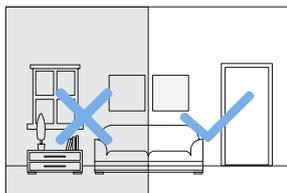


ドアを開けたままにする

初回使用時は、ロボットが家全体を十分に探索できるよう、各部屋のドアが開いていることを確認してください。



出入口や廊下などの狭い場所に立たないでください。また、ロボットがエリアを認識しているときは、ロボットの進路を妨げないようにしてください。



十分な照明を用意する

ロボットは靴ソケットコードなどを避けます。清掃するすべてのエリアが十分に照らされていることを確認することで、障害物回避能力を向上させることができます。



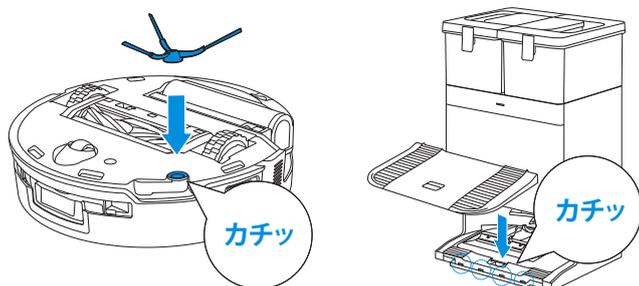
ロボットの視界の鮮明さを確保し、指紋や油汚れでAIカメラのレンズを傷つけたり汚したりしないようにしてください。洗剤、洗剤、スプレーではなく、清潔で柔らかい布を使用してカメラを拭いてください。

② クイックスタート

使用する前にロボットとOMNIステーションからすべての保護材を取り外してください。

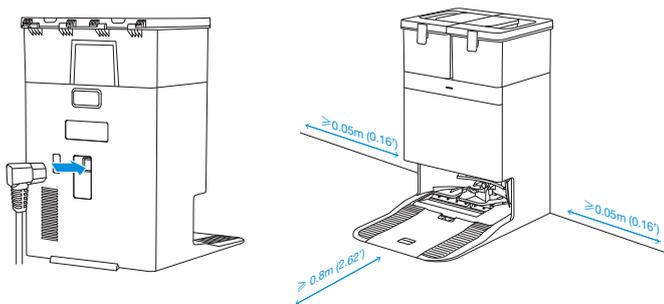
1. 取り付け

「カチッ」という音が聞こえたら、正しく取り付けられたことを示します。



2. 電源コードの接続とステーションの配置

ステーションを平らで硬い床に置き、壁に沿って配置します。両側0.05m以内、前方0.8m以内に物体がないことを確認してください。

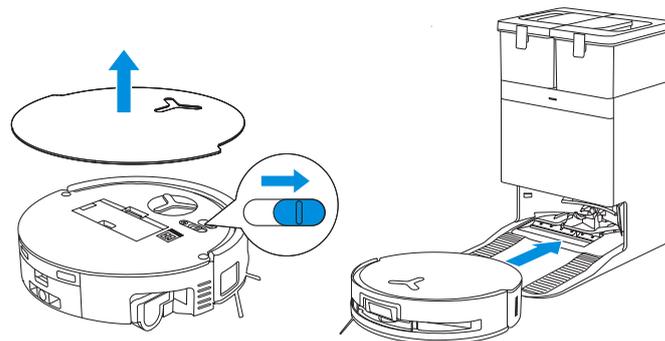


注記:

- OMNIステーションの近くに鏡や幅木などの反射物がある場合は、その下部14cmを覆う必要があります。
- OMNIステーションを直射日光の当たる場所に置かないでください。
- Wi-Fi信号が強い場所にステーションを設置してください。

③ ロボットの電源を入れて充電する

ロボットのカバーの下にある電源スイッチをオンにします（「I」は電源オン、「O」は電源オフを示します）。ロボットをステーションの前に置き、ステーションが電源に接続されていることを確認します。ECOVACS HOMEアプリまたは音声コマンドを使用してロボットを呼び出し、OMNIステーションで充電を開始するか、ロボットのボタンを3秒間長押しすると、ステーションに戻って充電します。



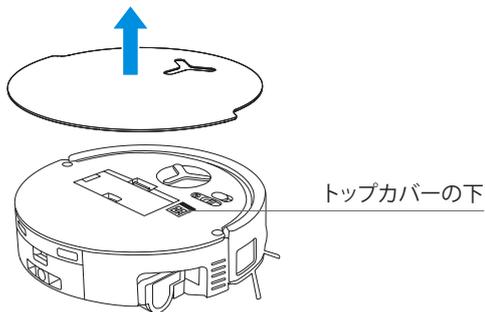
注記:

- 電源がオフの状態ではロボットを充電できません。
- ロボットが清掃作業を終えた後は、次の清掃に備えて電源を切らずに充電しておくことをお勧めします。
- ロボットはOMNIステーションから清掃を開始することをお勧めします。清掃中はOMNIステーションを移動しないでください。

4 ECOVACS HOME アプリのダウンロード

さらなる機能を楽しむために、ECOVACS HOME アプリをダウンロードしてください。

ロボット上の QR コードをスキャンしてアプリをダウンロードできます。



または、モバイルアプリストアで ECOVACS HOME を検索してアプリをダウンロードしてください。



注記:アプリのガイドに従って登録、ログインし、製品をアプリに接続します。

5 ロボットをアプリに接続

Bluetooth 経由:ロボットと携帯電話の Bluetooth をオンにします。アプリが携帯電話の Bluetooth 権限を取得できるようにします。ロボット上の QR コードをスキャンするか、アプリ内の  または  をタップして近くのロボットを見つけます。

Wi-Fi 経由:アプリのページの指示に従って、他の方法でロボットをアプリに接続することもできます。

注記:より良い体験のために、Bluetooth 経由で接続してください。

Wi-Fi ネットワーク要件:

- 2.4GHz または 2.4/5GHz の混合ネットワークを使用しています。
- ルーターが 802.11b/g/n および IPv4 プロトコルをサポートしている必要があります。
- VPN (仮想プライベートネットワーク) やプロキシサーバーは使用しないでください。
- 非公開のネットワークを使用しないでください。
- TKIP、PSK、AES/CCMP 暗号化を使用する WPA および WPA2 をサポートしています。
- WEP EAP (エンタープライズ認証プロトコル) はサポートされていません。
- 北米では Wi-Fi チャンネル 1 ~ 11 北米以外ではチャンネル 1 ~ 13 を使用してください (現地規制機構に従ってください)。
- ネットワークエクステンダーやリピーターを使用している場合、SSID とパスワードはプライマリネットワークと同じにしてください。
- ルーターで WPA2 を有効にしてください。

Wi-Fi インジケータライト

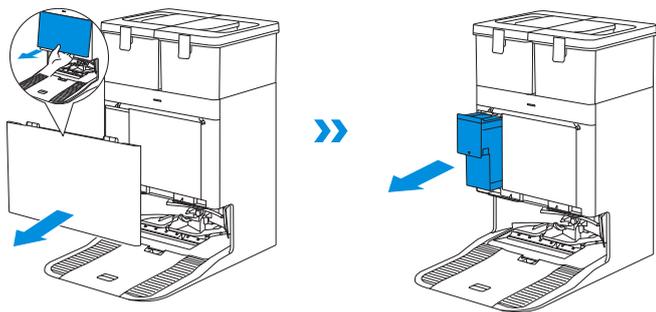
	白色ゆっくり点滅	Wi-Fi に未接続
	白色速く点滅	接続中
	白色点灯	Wi-Fi に接続

ご注意ください: リモート起動、音声対話、2D/3D マップ表示とコントロール設定、パーソナライズされた清掃 (機能は製品によって異なります) などのスマート機能を利用するには、常に更新されている ECOVACS HOME アプリをダウンロードして使用する必要があります。お客様の基本的かつ必要な情報の一部を処理し、ECOVACS HOME アプリを通じて製品を操作できるようにするには、当社のプライバシーポリシーとユーザー契約に同意していただく必要があります。お客様の同意がない場合、前述のスマート機能の一部に ECOVACS HOME アプリからアクセスすることはできません。それでも、手動操作による製品の基本機能は引き続きご利用いただけます。

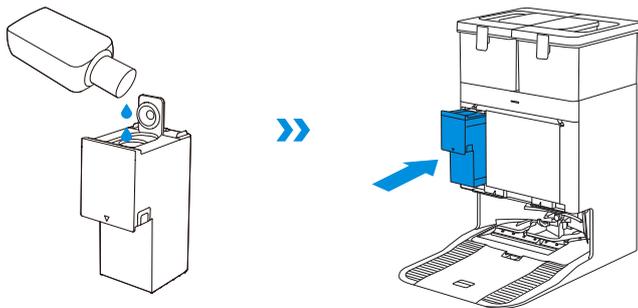
⑥ 洗浄液(別売)を追加する

洗浄液自動補充モジュールを備えたステーションの場合、以下の手順に従ってください:

1.ダストコンテナのカバーを外し、洗浄液ユニットを引き出して、平らで硬い面に置きます。

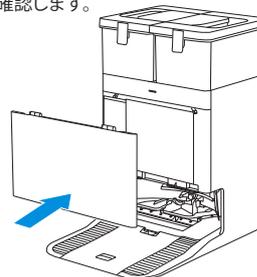


2.洗浄液ユニットの蓋を開け、ECOVACS洗浄液を充填します。蓋を閉めてユニットをステーションに戻します。



注記: 洗浄液は洗浄液ユニットから自動的に供給されます。水タンクに洗浄液を入れないでください。

3.ダストコンテナカバーの上部ラッチをスロットに挿入し、下方向に押し込んでしっかりと密閉されていることを確認します。



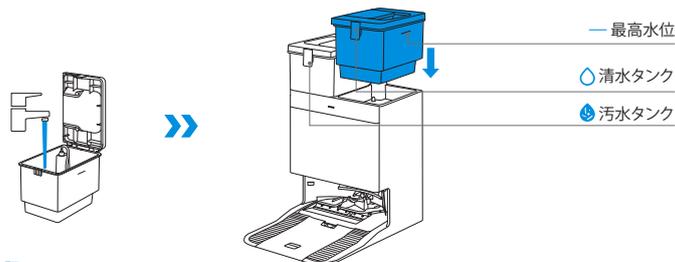
注記:

- 故障を防ぐため、ECOVACS 純正の洗浄液を使用してください。
- 洗浄液ユニット内に異物が入らないようご注意ください。

⑦ 清水タンクの補充と洗浄液(別売)

洗浄液自動補充モジュールのないステーションの場合、以下の手順に従ってください:

清水タンクに最大水位線まで水を入れます。次に、1:200の希釈比で、ボトルキャップを使って適量の洗浄液をタンクに注ぎます。タンクカバーをしっかり閉め、軽く振って混ぜてからご使用ください。



注記:

- タンクを設置する前に、清潔な乾いた布でタンクの表面の水分を拭き取ってください。
- 使用前に水タンクの上カバーをしっかりロックしてください。
- 水タンク内の水滴は機能テストによる残りですので、安心してご使用ください。
- 製品に洗浄液自動補充機能がある場合は、⑥の手順に従って補充してください。

7 掃除を始める

1. マッピングを開始

ECOVACS HOME アプリまたは音声コントロールでロボットにマッピングの開始を指示してください。

初めてマップを作成する際は、ロボットの動きを見守り、いくつかの小さな問題を解決するのを助けてください。

例えば、ロボットが家具の下で立ち往生する可能性があります。以下の解決策を参照してください：

1. 可能であれば、低い家具を高くする。
2. 家具の下部を覆う。
3. アプリを使って仮想境界を設定する。

マッピング中、ロボットは自動的に家の環境を探索します。探索経路は清掃経路と異なる場合があります。

2. 掃除を始める

ロボットの水タンクはOMNIステーションを通じて自動的に補充されます。手動での補充は不要です。

モップ掛けの際、ロボットは床の種類を認識し、カーペットに遭遇すると自動的にモップを持ち上げることができます。毛足が10mmを超えるシャギーラグやカーペットの上でロボットを使用しないでください。清掃中は、毛足が10mmを超えるシャギーラグを折り畳むか、ECOVACS HOMEアプリの「マップ」>「カーペット清掃設定」にて、シャギーカーペットのエリアを立ち入り禁止ゾーンに設定することをお勧めします。

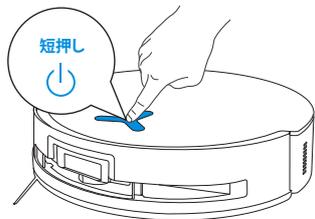
初めて掃除する前に、ロボットが OMNI ステーションにあり、完全に充電されていることを確認してください。ロボットの  ボタンをタップして掃除を開始します。ECOVACS HOME アプリまたは音声コントロールを使用して掃除を開始することもできます。

3. 一時停止

ロボットの  ボタンをタップすると、動作中に一時停止します。ECOVACS HOME アプリまたは音声コントロールでロボットを一時停止することもできます。

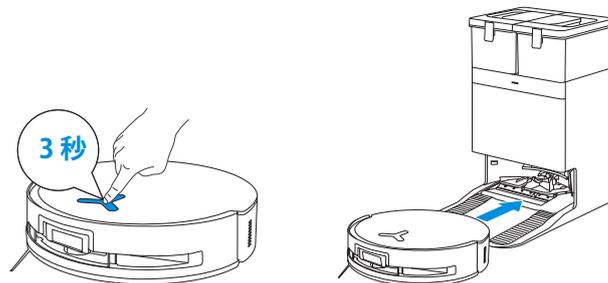
4. 起動

しばらく一時停止すると、ロボットのすべてのインジケータライトが消灯します。ロボットを起動するには、 を短く押ししてください。約 1 時間動作を停止すると、ロボットはスタンバイモードに入る場合があります。



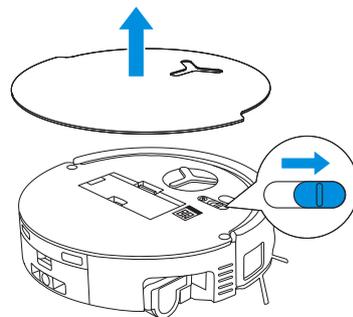
5. OMNI ステーションに戻る

ECOVACS HOME アプリを使用するか、ロボットの  ボタンを 3 秒間長押しすると、ロボットがステーションに戻って充電します。



6. ディープスリープモード

ロボットがOMNIステーションの外に約10時間留まると、バッテリー保護のためにディープスリープモードに入ります。ロボットを起動するには、電源をオフにしてからオンにしてください。



定期的なメンテナンス

① メンテナンス頻度

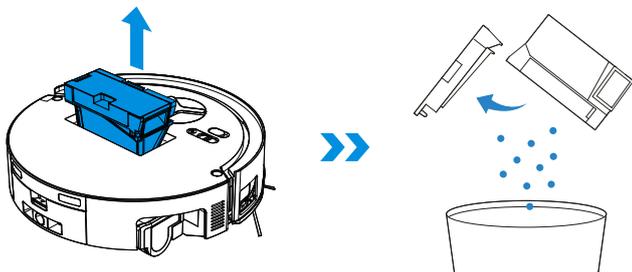
最適なパフォーマンスを維持するために、以下の頻度でメンテナンスを行い、部品を交換してください。

部品	メンテナンス頻度	交換頻度
交換可能なローラーモップ	毎週	1～2か月ごと
ウォータートレイ	毎週	/
汚水ボックス	毎週	/
洗浄液自動補充モジュール	毎月	/
ダストバッグ	/	2～3ヶ月ごと
サイドブラシ	2週間ごと	3～6か月ごと
メインブラシ	毎週	6～12か月ごと
フィルター	毎週	3～6か月ごと
エッジセンサー ユニバーサルホイール 落下防止センサー バンパー ロボットの充電接点 OMNIステーションの充電接点 d-ToFレーザーモジュール AIVIカメラ	約毎月	/
清水タンク	3ヶ月ごと	/
汚水タンク	毎月	/
ダストコンテナ内部	毎月	/
ステーション本体と底面	毎月	/
取り外し可能なトレイ	5ヶ月ごと	/

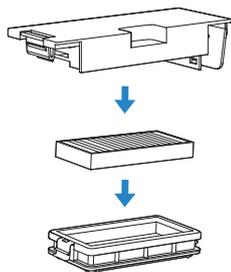
注記: ECOVACS HOME アプリまたは <https://www.ecovacs.com> で、アクセサリをさらにご覧いただけます。

② ダストボックス

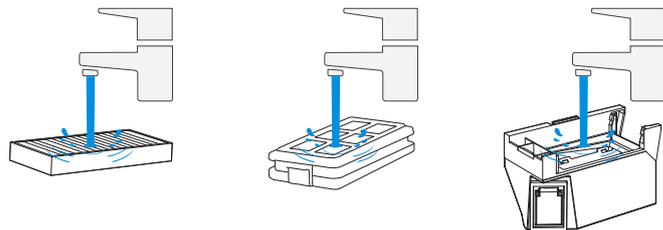
1.ダストボックスを取り外し、カバーを開けて中身を空にします。



2.ダストボックスカバーを開け、フィルターとフィルターネットを取り外します。



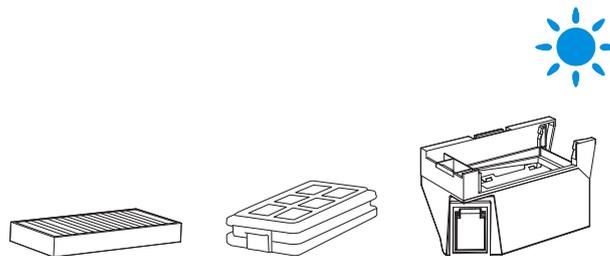
3.これらの部品は水洗いできます。その後、残った水滴を取り除くためによく振ってください。



注記:

- 上記のようにフィルターを水で洗い流してください。
- 指やブラシを使ってフィルターを掃除しないでください。

4.ダストボックスとフィルターを自然乾燥させてください。

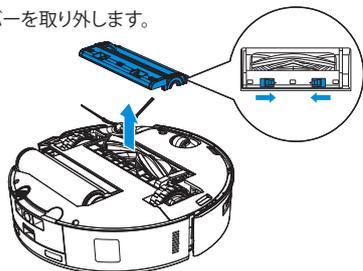


注記： フィルターは使用前に完全に乾燥させてください。

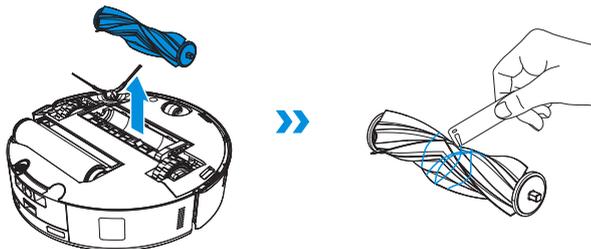
③ メインブラシとサイドブラシのメンテナンス

メインブラシを清掃します。

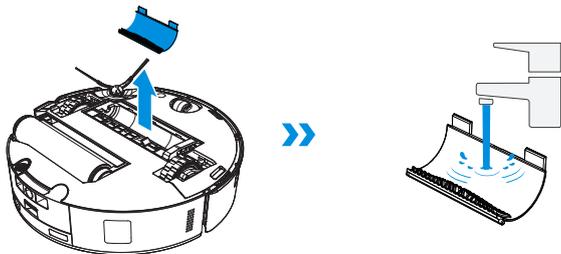
1.メインブラシのカバーを取り外します。



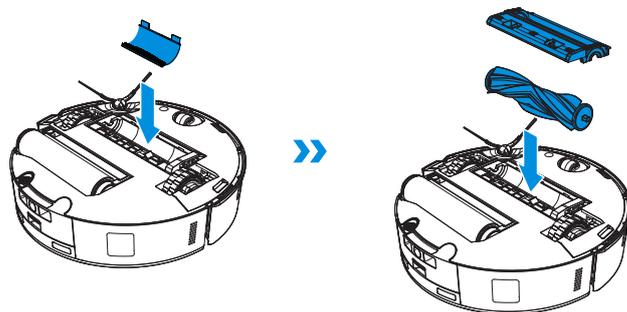
2.メインブラシを取り外して清掃します。



3.ブラシコームを取り外して洗浄します。

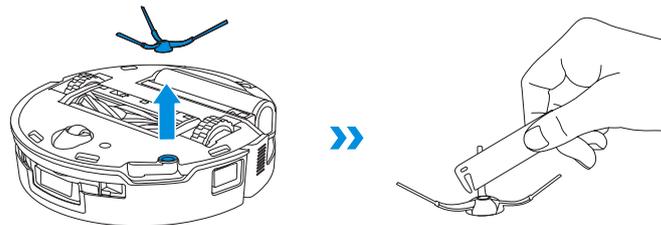


4.ギア、メインブラシ、メインブラシカバーを取り付けます。



サイドブラシを清掃します。

サイドブラシを取り外して清掃します。

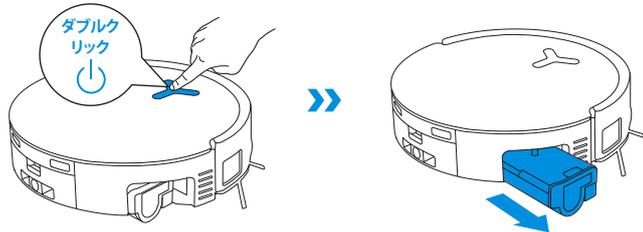


注記 ECOVACS HOME アプリまたは <https://www.ecovacs.com> でアクセサリーをさらに探索できます。

④ ローラーモップ、ウォータートレイ、汚水ボックス

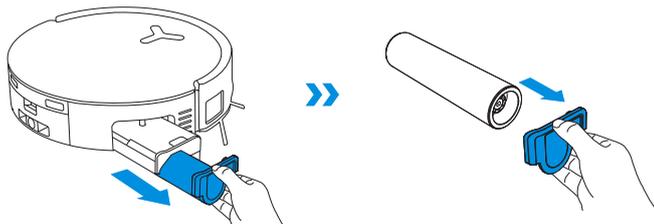
ローラーモップを清掃します。

1. ロボットの電源ボタンをダブルクリックしてローラーモップコンポーネントを取り外します。

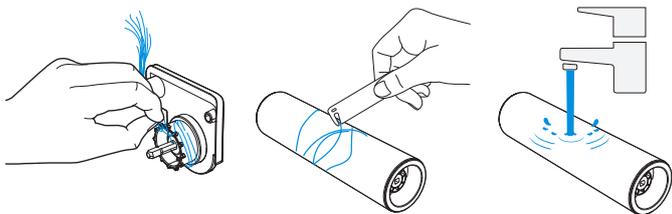


注記：過度な力を加えないよう、ローラーの取り外しや取り付けは慎重に行ってください。

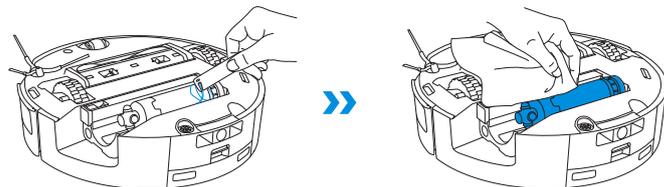
2. ラッチを押してローラーモップを取り外します。



3. ローラーモップを清掃します。

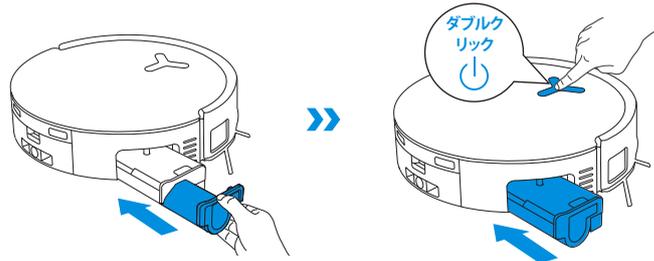


4. ローラーモップの内部を清掃します。



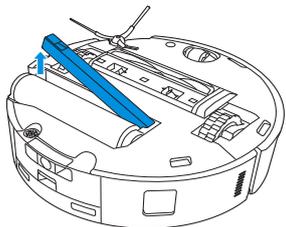
注記：本体の洗浄には水を使用しないでください。

5. ローラーモップをローラーエンドカバーに押し込み、ロボットの電源ボタンをダブルクリックして収納します。



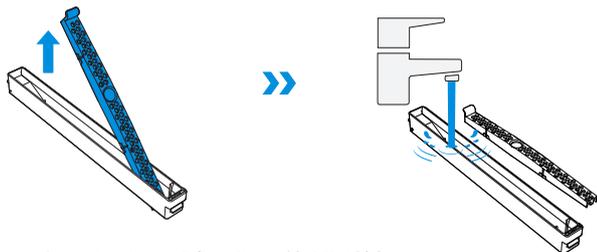
ウォータートレイを清掃します

1.ウォータートレイを取り外します。

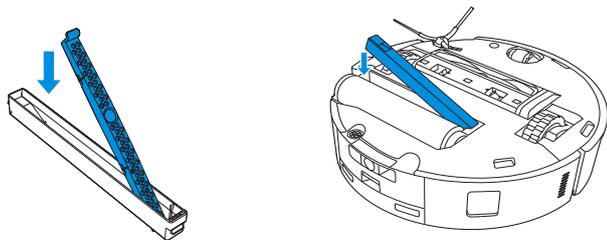


注記 :乾燥モードでない場合、ロボットをひっくり返すと少量の水が漏れることがあります。

2.ウォータートレイの部品を取り外して清掃します。

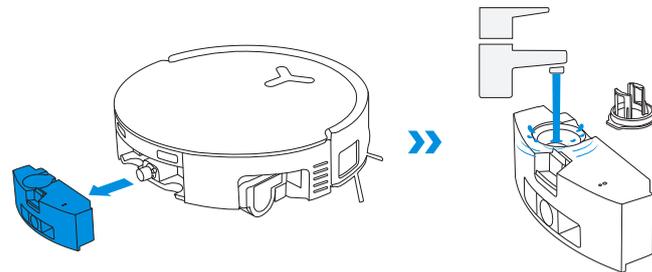


3.図のようにウォータートレイの部品を取り付けてください。

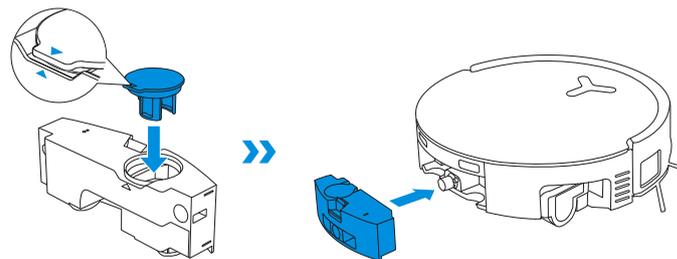


汚水ボックスを清掃します

1.汚水ボックスを取り外して清掃します。

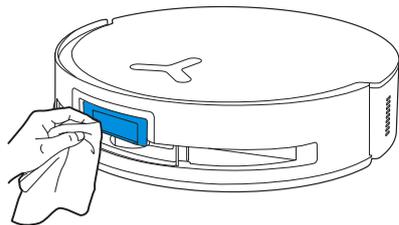


2.汚水ボックスのカバーをガイド方向にしっかりと押し、上端と平らになるまで押し、密閉を確保してください。

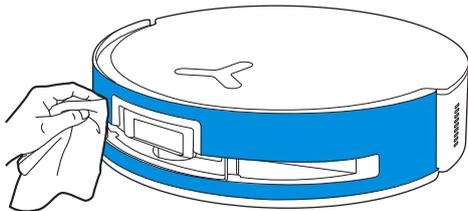


5 その他のコンポーネントのメンテナンス

センサーレンズを清掃する

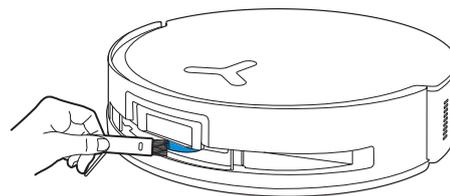


バンパーを清掃する



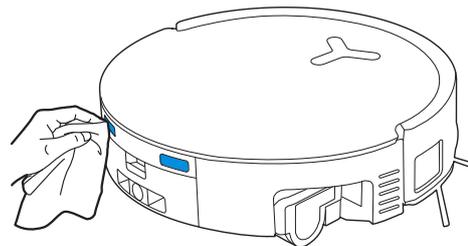
注記：落下防止センサーやバンパーを清掃する際は、水による損傷を防ぐため乾いた布を使用してください。

d-ToF レーザーモジュールを清掃する



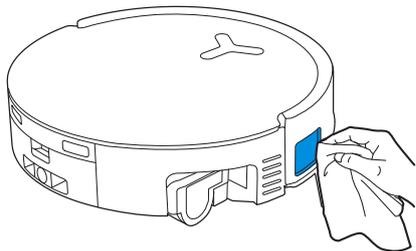
注記：レーザーモジュールを清掃する際は、モジュールのレンズを前方に回転させ、ブラシで軽く清掃してください。

充電接点を清潔にする

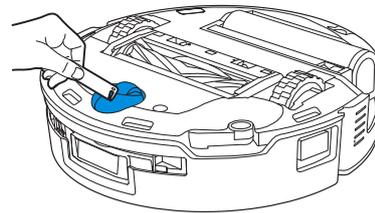


注記：乾いた布で接点を拭いてください。水による損傷を防ぐため、濡れた布の使用は避けてください。

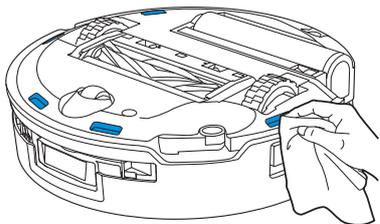
エッジセンサーを清掃する



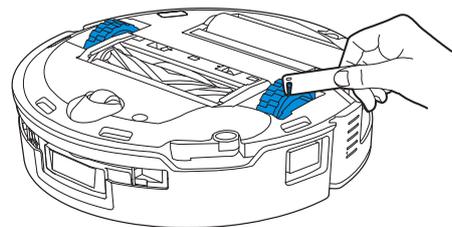
ユニバーサルホイールを清掃する



落下防止センサーを清掃する



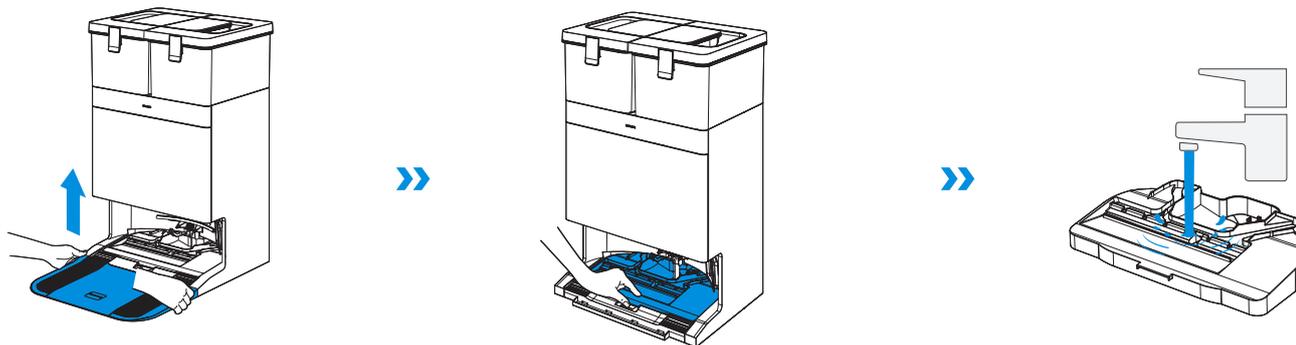
駆動輪を清掃する



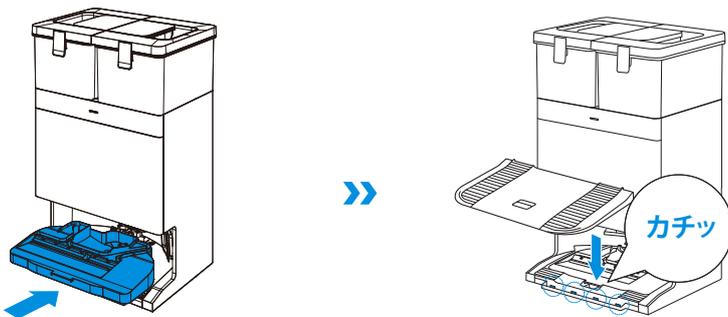
注記:水による損傷を防ぐため、充電接点を清掃する際は乾いた布を使用してください。

6 モップ洗浄トレイ

1. 取り外し可能なトレイとベースを取り外して清掃します。



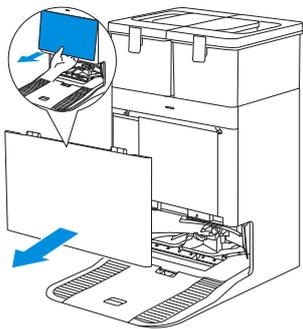
2. 取り外し可能なトレイとベースを取り付けます。



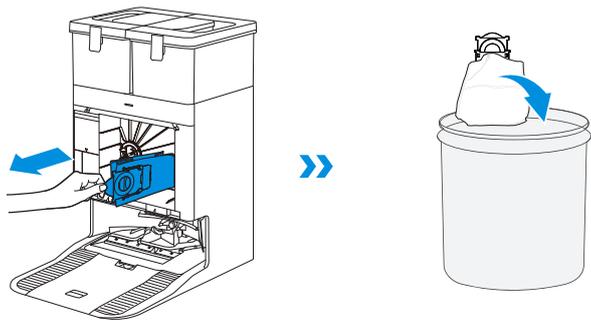
注記: 故障を防ぐため、取り外し可能なトレイとベースを正しく取り付けてください。

⑦ ダストバッグ

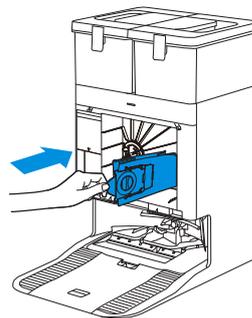
1.ダストコンテナカバーを取り外します。



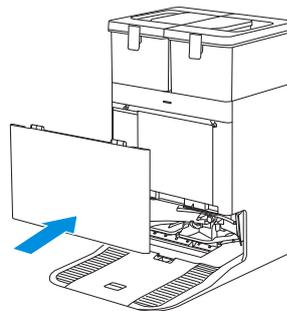
2.使い捨てダストバッグを矢印の方向に取り外し、廃棄してください。



3.ダストコンテナを乾いた布で清掃し、新しいダストバッグを取り付けます。



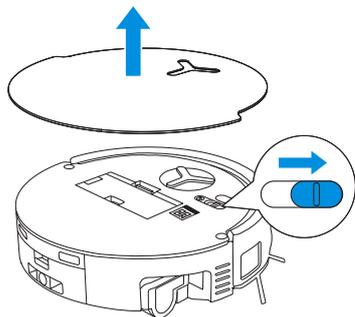
4.ダストコンテナカバーの上部ラッチをスロットに挿入し、下方向に押ししてしっかりと密閉されていることを確認します。



注記:ハンドルを持ってダストバッグを取り出すことで、ほこりの漏れを効果的に防ぐことができます。

8 保管

保管前にロボットを完全に充電し、電源をオフにしてください。バッテリーの過放電を防ぐため、1.5ヶ月ごとに充電してください。



! ロボットの電源がオフの状態では充電できないのでご注意ください。

注記:

- ロボットが清掃作業を終えた後は、次回の清掃に備えて、電源を切らずに充電を続けることをお勧めします。
- バッテリーが過放電状態の場合や長期間使用されていない場合、ロボットが充電されないことがあります。サポートが必要な場合は、ECOVACSIにお問い合わせください。バッテリーを自分で分解しないでください。
- 製品を長期間使用しない場合は、汚水ボックスと水タンクを空にし、モップを乾いた状態に保ってください。

トラブルシューティング

以下の考えられる問題については、対応する解決策を参照してください。

番号	故障	考えられる原因	解決策
1	ロボットが ECOVACS HOME アプリに接続できない。	入力された Wi-Fi ユーザー名またはパスワードが間違っています。	正しい Wi-Fi ユーザー名とパスワードを入力してください。
		ロボットが自宅の Wi-Fi 信号の範囲内にない。	ロボットが自宅の Wi-Fi 信号の範囲内にあることを確認してください。ロボットをできるだけ Wi-Fi 信号の近くに置いてください。
		ロボットが構成状態ではない。	リセットボタンを押して、ロボットを Bluetooth 経由で携帯電話に接続します。失敗した場合は、リセットボタンと  を押して、ECOVACS HOME アプリ経由で接続してください。
		Wi-Fi リストに自宅の Wi-Fi が表示されません。	1.Wi-Fi 名に特殊文字が含まれていないか確認してください。以下のような特殊文字は使用しないでください: !@#& ¥%^\n2.5GHz ネットワークを使用しないでください。
		間違ったアプリがインストールされている。	ECOVACS HOME アプリをダウンロードしてインストールしてください。
2	アプリで家具マップを作成できません。	掃除中にロボットを移動させると、マップが消失する可能性があります。	掃除中にロボットを動かさないでください。
		自動掃除が完了していない。	掃除後、ロボットが自動的に OMNI ステーションに戻ることを確認してください。
3	使用中にサイドブラシが外れてしまいます。	サイドブラシが正しく取り付けられていません。	サイドブラシがカチッと所定の位置に収まっていることを確認してください。
4	信号が見つからない。ロボットが OMNI ステーションに戻ることができない。	OMNI ステーションの位置が正しくありません。	OMNI ステーションを正しく設置するには、 【クイックスタート】 セクションの指示に従ってください。
		OMNI ステーションの電源が切れているか、移動されています。	OMNI ステーションが電源に接続されているか確認してください。OMNI ステーションを移動しないでください。
		ロボットが OMNI ステーションから清掃を開始しない。	ロボットは OMNI ステーションから清掃を開始することをお勧めします。
		充電経路が遮断されている。たとえば、OMNI ステーションのある部屋のドアが閉まっています。	充電経路を空けておいてください。
5	ロボットが掃除が終わる前にステーションに戻ります。	部屋が広いため、ロボットは充電のために戻る必要がある。	自動再開機能を有効にしてください。詳細については、アプリの指示に従ってください。
		非常に複雑な家のレイアウトでは、掃除の効率が低下し、掃除が不完全になる可能性があります。	掃除エリアを整理し、家具や小物を適切な場所に配置してください。

番号	故障	考えられる原因	解決策
6	ロボットが充電できない。	ロボットの電源がオンになっていません。	ロボットの電源を入れてください。
		ロボットの充電接点が OMNI ステーションの充電接点に接続されていません。	ロボットの充電接点がステーションの充電接点に接続され、  が点滅することを確認してください。ロボットと OMNI ステーションの充電接点汚れていないか確認してください。これらの部品を、【定期メンテナンス】セクションの指示に従って清掃してください。
		OMNI ステーションが電源に接続されていません。	OMNI ステーションが電源に接続されていることを確認してください。
		ベースが所定の場所に設置されていません。	正しい設置方法については、【クイックスタート】を参照してください。
7	ロボットが掃除中に非常に大きな音を立てる。	メインブラシ / サイドブラシが絡まっているか、ダストビン / ローラーモップ / フィルターが詰まっています。	メインブラシ、サイドブラシ、ダストビン、ローラーモップ、フィルターなどを定期的に清掃することをお勧めします。
		ロボットが強力モードまたは最大モードになっています。	標準モードに切り替えてください。
8	ロボットが作業中に動けなくなり停止する。	床上の物体（電線、カーペットの縁など）に絡まってしまふ。	ロボットは自力で解放を試みますが、失敗した場合は手で障害物を取り除いてください。
		ロボットが、同じくらしいの高さの入口を持つ家具の下で動けなくなる可能性がある。	家具の高さを上げるか、物理的な障壁を設置するか、ECOVACS HOME アプリで仮想境界を設定してください。
		ロボットが狭いエリアで立ち往生しています。	家を整理し、物理的な障壁を設置するか、ECOVACS HOME アプリで仮想境界を設定してください。
9	ロボットが動作しているときに、掃除ルートが乱れたり、掃除ルートから外れたり、掃除が繰り返されたり、掃除する小さな領域が見落とされたりする問題が発生します。（一時的に清掃されていない広いエリアがある場合、ロボットが自動的に見落としたエリアを清掃します。）ロボットが掃除済みの部屋に再度入ることがありますが、これは繰り返し掃除しているのではなく、見落とししたエリアを見つけている可能性があります。	床にある電線やスリッパなどの物体がロボットの動きを妨げます。	掃除前に、床に散らばっている電線やスリッパなどをできるだけ片付けてください。掃除しきれなかった箇所があった場合、ロボットが自動的に掃除しますので、邪魔をしないでください（ロボットを動かしたり、経路を塞いだりするなど）。
		ロボットが段差、敷居、ドアバーを乗り越えるとき、駆動輪が滑ってしまい、家全体の環境認識に影響を与える可能性があります。	影響を受けるエリアのドアを閉めて個別に掃除することをお勧めします。掃除が終わると、ロボットは元の位置に戻ります。どうぞ安心してこの方法をご利用ください。
		ワックスをかけたばかりの床や磨かれた床、または滑らかなタイルの上では、駆動輪と床の間の摩擦が少なくなることがあります。	ワックスが乾いてから掃除を開始してください。
		家庭環境によっては、清掃できない場所がある場合がある。	ロボットが清掃するエリアに入れるように、家を整理してください。

番号	故障	考えられる原因	解決策
10	遠隔操作に遅延が発生します。	Wi-Fi 信号が弱いため、ビデオの読み込みが遅くなります。	ロボットは Wi-Fi 信号が良好な場所で使用してください。
11	ロボットが OMNI ステーションに戻った後ダストボックスを空にしない。	ECOVACS HOME アプリで自動ゴミ回収機能がオンになっていません。	ECOVACS HOME アプリで自動ゴミ回収機能をオンにしてください。
		ロボットを手動で OMNI ステーションに戻すと、自動ゴミ回収機能が作動しない場合があります。	ロボットが自動的に OMNI ステーションに戻るようになっています。手動で移動させないでください。
		「Do Not Disturb」モードでは、ロボットが OMNI ステーションに戻ってもダストボックスを空にしません。	ECOVACS HOME アプリで「Do Not Disturb」モードをオフにするか、手動でゴミ収集を開始してください。
		OMNI ステーションがゴミ回収効率の低下を検出しました。	【定期メンテナンス】 セクションに従ってダストバッグを交換し、集塵キャビンを開いてください。アプリでダストバッグが満杯と表示されても、実際に満杯でない場合は、再度ダストバッグを装着できます。
		上記の原因が該当しない場合、OMNI ステーションの部品に異常がある可能性があります。	サポートが必要な場合はカスタマーサービスにお問い合わせください。
12	自動ゴミ回収に失敗しました。	OMNI ステーションがゴミ回収効率の低下を検出しました。	【定期メンテナンス】 セクションに従ってダストバッグを交換し、集塵キャビンを開いてください。アプリでダストバッグが満杯と表示されても、実際に満杯でない場合は、再度ダストバッグを装着できます。
		ダストボックスの排出口が異物でふさがれている可能性がある。	ダストボックスを取り外し、排出口の異物を取り除いてください。
13	集塵キャビンの内側が汚れています。	微細な粒子がダストバッグを通過し、集塵キャビンの内側に蓄積されます。	集塵キャビンの内側を清掃してください。
		ダストバッグが破損しています。	ダストバッグを確認し、交換してください。
		ダストバッグが正しく取り付けられていません。	ダストバッグを正しく取り付けてください。
		集塵キャビンのカバーが閉じられていません。	集塵キャビンのカバーがきちんと閉まっているか確認してください。
14	ロボットの動作中に粉塵漏れが発生します。	ダストボックスの排出口が異物でふさがれている可能性がある。	ダストボックスを取り外し、排出口の異物を取り除いてください。
15	ローラーモップが回転できません。	ローラーモップが正しく取り付けられていません。	ローラーモップを正しく取り付けるには、 【定期メンテナンス】 セクションを参照してください。
		ローラーモップに異物が挟まっています。	ローラーモップを適切に清掃するには、 【定期メンテナンス】 セクションを参照してください。

番号	故障	考えられる原因	解決策
16	駆動輪が動かなくなっている。	駆動輪が異物によって絡まったり、詰まったりしています。	駆動輪を回転させたり押ししたりして、異物による絡まりや詰まりがないか確認してください。異物が見つかった場合は、速やかに清掃してください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマーサービスにお問い合わせください。
17	モップ洗浄トレイに排水できない水が溜まると、モップ洗浄トレイが故障していることを音声で知らせます。	汚水タンクが正しく取り付けられていません。	汚水タンクを押し込んで、正しく取り付けられていることを確認してください。
		汚水タンクのシーリングプラグが正しく取り付けられていません。	2つのシーリングプラグが正しく取り付けられていることを確認してください。
		モップ洗浄トレイが正しく取り付けられていません。	モップ洗浄トレイが正しく取り付けられていることを確認してください。
		モップ洗浄トレイベースが汚れています。	モップ洗浄トレイベースをきれいな水で洗い流してください。
		モップ洗浄トレイベースに水がないとき、フローティングボールが詰まっていないか確認してください。	モップ洗浄トレイを取り出し、フローティングボールを元の位置に戻してください。
		OMNIステーションが正常に排水できません。	ロボットをステーションに入れ、  をダブルタップしてください。問題が解決しない場合は、カスタマーサービスにお問い合わせください。
		モップ洗浄トレイの吸引口が異物で詰まっています。	モップ洗浄トレイの吸引口に異物がないことを確認してください。
	上記の解決策を試しても音声プロンプトはまだ表示されます。	OMNIステーションの電源を抜き差ししてください。それでも問題が解決しない場合は、カスタマーサービスにお問い合わせください。	
18	汚水ボックスの故障。	汚水ボックスの排水口が詰まり、排水ポールが正常に機能しなくなります。	汚水ボックスを取り外して空にし、すすいでから再度取り付けます。それでも問題が解決しない場合は、カスタマーサービスにお問い合わせください。

推奨される解決策を試しても問題が解決しない場合は、弊社のカスタマーサービスにお問い合わせください。

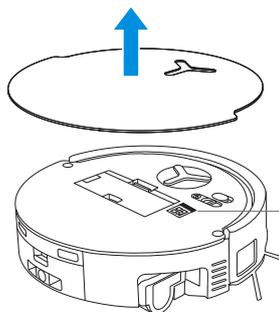
技術仕様

型番	DEX56		
定格入力	20V === 2A	充電時間	約 4.5 時間
ステーションモデル	CH2453F/CH2453H		
定格入力	100V ~ 50-60Hz	定格出力	20V === 2A
定格入力電流 (充電時)	1A	電流 ((ゴミ収集時)	7A
電流 (温水洗浄用モップ)	10A	電流 (モップ乾燥時)	1.2A
周波数帯	2400-2483.5 MHz		
ネットワーク待機電力	2.00 W 未満		

無線モジュールの出力は 100mW 未満です。

注記:製品の継続的な改良のため、技術仕様および設計仕様は変更される場合があります。

詳しいアクセサリ情報は <https://www.ecovacs.com> でご覧ください。



モバイルカメラを使用して QR コードをスキャンし、ユーザーガイドを入手してください。

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

When using an electrical Appliance, basic precautions should always be followed, including the following:

READ ALL INSTRUCTIONS BEFORE USING THIS APPLIANCE SAVE THESE INSTRUCTIONS

1. This Appliance is not intended for use by persons (including children) with reduced physical, sensory or mental capabilities, or lack of experience and knowledge, unless they have been given supervision or instruction concerning use of the Appliance by a person responsible for their safety.
2. Children should be supervised to ensure that they do not play with the Appliance.
3. Clear the area to be cleaned. Remove power cords and small objects from the floor that could entangle the Appliance. Tuck rug fringe under the rug base, and lift items such as curtains and tablecloths off the floor.
4. If there is a drop off in the cleaning area due to a step or stairs, you should operate the Appliance to ensure that it can detect the step without falling over the edge. It may become necessary to place a physical barrier at the edge to keep the unit from falling. Make sure the physical barrier is not a trip hazard.
5. Only use as described in this manual. Only use attachments recommended or sold by the manufacturer.
6. For INDOOR household use ONLY. Do not use the Appliance in outdoor, commercial or industrial environments.
7. Do not use without dust bin and/or filters in place.
8. Do not operate the Appliance in an area where there are lit candles or fragile objects.
9. Keep hair, loose clothing, fingers, and all parts of body away from any openings and moving parts.
10. Do not use in extremely hot or cold environments (below -5°C/23°F or above 40°C/104°F).
11. Do not operate the Appliance in a room where an infant or child is sleeping.
12. Do not use Appliance on wet surfaces or surfaces with standing water.
13. Do not allow the Appliance to pick up large objects like stones, large pieces of paper or

- any item that may clog the Appliance.
14. Do not use Appliance to pick up flammable or combustible materials such as gasoline, printer or copier toner, or use in areas where they may be present.
 15. Do not use Appliance to pick up anything that is burning or smoking, such as cigarettes, matches, hot ashes, or anything that could cause a fire.
 16. Do not put objects into the suction intake. Do not use if the suction intake is blocked. Keep the intake clear of dust, lint, hair, or anything that may reduce air flow.
 17. If the power cord is damaged, it must be replaced by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
 18. Turn OFF the power switch before cleaning or maintaining the Appliance.
 19. The lithium battery type suitable for CH2453F/CH2453H is Max. 8 cells, max. nominal voltage DC 14.4V, rated capacity 5,800mAh/4,800mAh. The battery must be removed and discarded according to local laws and regulations before disposal of the Appliance.
 20. Please dispose of used batteries according to local laws and regulations.
 21. Do not incinerate the Appliance even if it is severely damaged. The batteries can explode in a fire.
 22. The Appliance must be used in accordance with the directions in this Instruction Manual. Ecovacs Home Service Robotics cannot be held liable or responsible for any damages or injuries caused by improper use.
 23. The robot contains batteries that are only replaceable by skilled persons. To replace the robot's battery, please contact Customer Service.
 24. Please make sure your power supply source voltage matches the power voltage marked on the OMNI Station.
 25. Use only the original rechargeable battery and OMNI Station provided with the Appliance from the manufacturer. Non-rechargeable batteries are prohibited.
 26. Take care not to damage the power cord. Do not pull on or carry the Appliance or OMNI Station by the power cord, use the power cord as a handle, close a door on the power cord, or pull power cord around sharp edges or corners. Do not run Appliance over the power cord. Keep power cord away from hot surfaces.

27. Do not use the OMNI Station if it is damaged.
The power supply is not to be repaired and not to be used any longer if it is damaged or defective.
28. Do not use with a damaged power cord or receptacle. Do not use the Appliance or OMNI Station if it is not working properly, has been dropped, damaged, left outdoors, or come in contact with water. It must be repaired by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
29. The plug must be removed from the receptacle before cleaning or maintaining the OMNI Station.
30. Remove the Appliance from the OMNI Station, and turn OFF the power switch to the Appliance before removing the battery for disposal of the Appliance.
31. When not using the OMNI Station for a long period of time, please unplug it.
32. If the robot will not be used for a long time, power OFF the robot for storage and unplug the OMNI Station.
33. WARNING-Add clean water into the clean tank only.
34. **WARNING:** For the purposes of recharging the battery, only use the detachable supply

unit CH2453F/CH2453H provided with the Appliance.

To satisfy RF exposure requirements, a separation distance of 20 cm or more should be maintained between this device and persons during device operation.

To ensure compliance, operations at closer than this distance is not recommended. The antenna used for this transmitter must not be co-located in conjunction with any other antenna or transmitter.

Device Update

Typically, some devices are updated bi-monthly, but not always so specific.

Some devices, especially those that went on sale more than three years ago, will only be updated if a critical vulnerability is found and fixed.

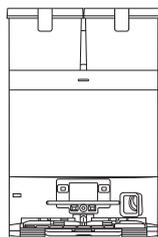
	Caution: hot surface
	Short-circuit-proof safety isolating transformer
	Switch mode power supply
	For indoor use only
	Direct current
	Alternating current
	Before charging, read the instructions.
	Polarity of the charging port
	Time-lag miniature fuse-link

PACKAGE CONTENTS

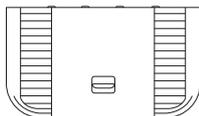
1 PACKAGE CONTENTS



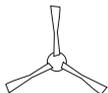
Robot



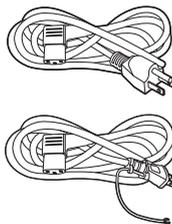
OMNI Station



Base



Side Brush



Power Cord



Instruction Manual

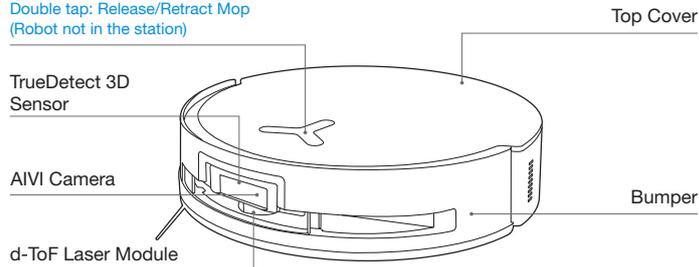
Note:

* Figures and illustrations are for reference only and may differ from actual product appearance. Product design and specifications are subject to changes without notice.

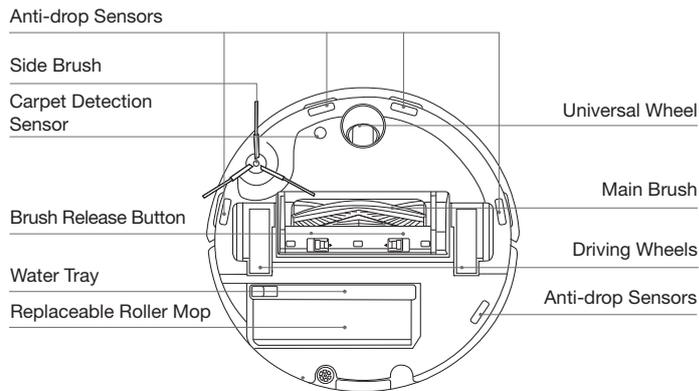
2 Product Diagram

1. Robot Front View

Button on the robot
Short Press: Toggle start/Pause
Press 3 Sec: Return to station
Double tap: Release/Retract Mop
(Robot not in the station)



2. Robot Bottom View

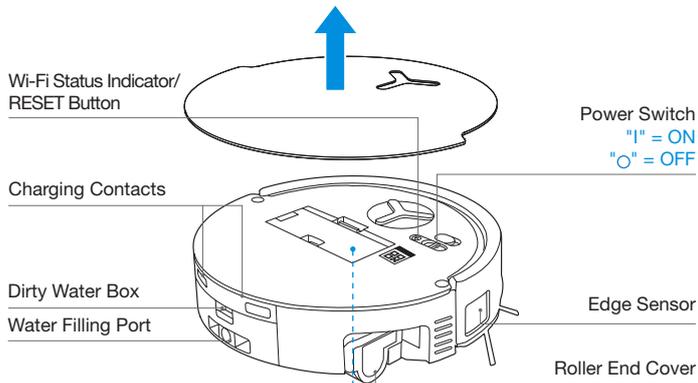


3. Internal View (Under the Cover)

RESET Button

Network Setup: Press the RESET Button and follow the voice prompt to set up the network.

Restore to default settings: Long press the RESET Button for 5 seconds. After you hear the voice prompt, the startup music will be played and the robot will be restored to default settings.



4. Dust Bin

Filter Latch

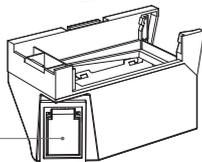


Filter



Filter Net

Dust Disposal Port



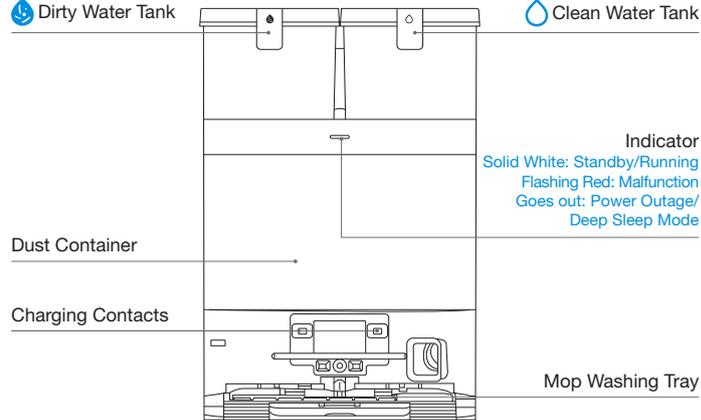
5. OMNI Station Front View



Dirty Water Tank



Clean Water Tank

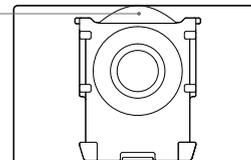


Note:

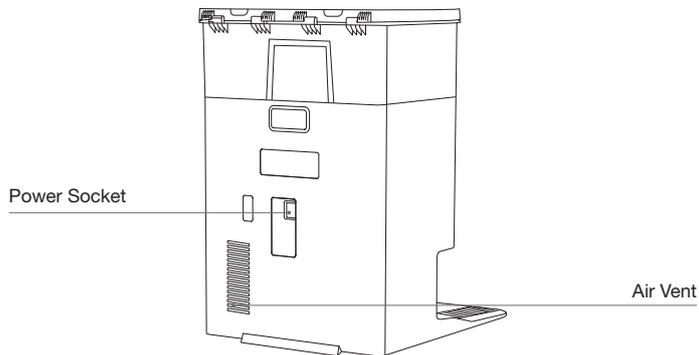
- If the indicator flashes red, go to the ECOVACS HOME App for details about the malfunction.
- If the robot cannot charge, wipe the corresponding charging contacts on the OMNI Station with a dry cloth.

6. Dust Bag

Dust Bag Handle



7. OMNI Station Back View



8. Sensors

Product Diagram	Functional Description
d-ToF Laser Module	Laser ranging is applied to measure the distance between the robot and surrounding objects based on the time difference of reflection, allowing the module to map against the objects around while the robot is moving. The detection range is 12 m.
TrueDetect 3D Sensor	With Infrared ranging-detection and the concept of similar triangles, the sensor emits infrared rays and receives the light from the objects ahead to calculate the distance between the object and the robot. When the sensor detects an object nearby, the robot will automatically take a turn to avoid bumping into the object. The detection range is 0.3 m.
Anti-drop Sensors	Infrared ranging is applied by the sensor at the bottom of the robot to measure the height between the bottom of the robot and the ground. When at the top of the stairs, for example, with a height above 55mm on white-colored ground or a height above 30mm on black-colored ground, the robot will stop advancing, fulfilling the feature of Anti-drop.
Carpet Detection Sensor	The ultrasound probe can emit ultrasonic waves with a frequency of 300KHZ. The energy of the ultrasonic waves can be absorbed by carpets. If the reflected energy is below the threshold, the robot will recognize the presence of a carpet. According to ECOVACS lab tests, currently, over 50 types of carpets available on the market can be identified.
Anti-collision Sensor	When the transmitted signal is blocked by an object, the signal receiver will not be able to receive it. With this principle, the robot will avoid obstacles when encountering them.
Edge Sensor	With ToF distance measurement, the robot can detect the distance between itself and objects on its right side. When there is a wall or obstacle on the right side, the robot will perform edge cleaning to avoid missing spots or collisions.
AIVI Camera	Use AI cameras to collect images of the surrounding environment. *Realize video recording. Through interaction with MIC, remote video call can be realized(For some models).
Microphone	Human voices cause vibrations in the diaphragm of the microphone through air. As a result, the microphone utilizes the collection and algorithms of sound models to achieve sound recording and voice control of the robot to complete specific tasks. The effective wake-up distance is 5 m.

NOTES BEFORE CLEANING

1 Warnings

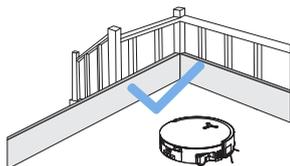


Prepare the Area

Tidy up the area to be cleaned by putting furniture, such as chairs, in their proper place.



Put away objects including cables, cloths and slippers, etc. on the floor to improve the cleaning efficiency.

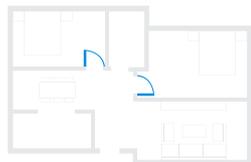


Set up Protective Barriers

It may be necessary to place a physical barrier at the edge of a steep drop to stop the robot from falling over the edge.



Before using the product on a rug or carpet with tasseled edges, please fold the rug and tuck the tassles under the rug.

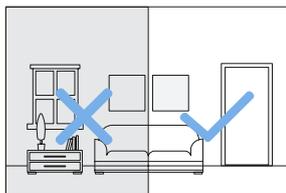


Keep Your Doors Open

During the first use, make sure each room door is open to help the robot fully explore your house.



Please do not stand in tight spaces such as doorways and hallways, and make sure not to block the robot's path when it's identifying areas.



Provide Sufficient Lighting

The robot can avoid shoes, sockets and cords etc., and make sure all areas to be cleaned are well illuminated, which can improve obstacle avoidance.



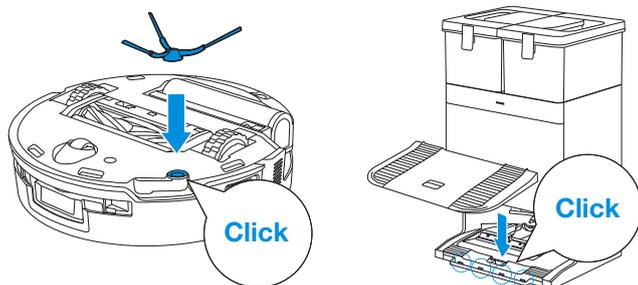
Ensure the clarity of the robot's vision and avoid scratching or smudging the AI camera lens with fingerprints or oily stains. Use a clean, soft cloth to wipe the camera, instead of cleaning agents, detergents, or sprays.

2 Quick Start

Before using, please remove all protective materials from the robot and OMNI station.

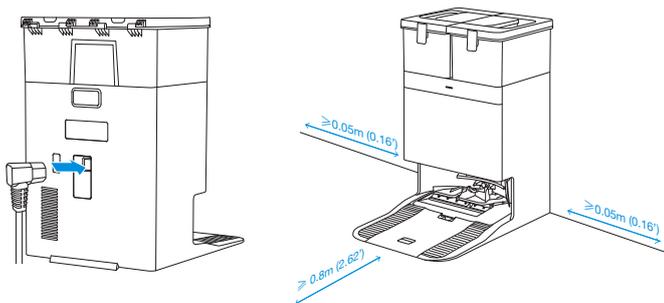
1. Installation

The sound of “Click” indicates proper installation.



2. Power cord connection and station placement

Place the Station against a wall on a level, hard ground. Ensure there are no objects within 0.05 m on either side and 0.8 m in front of it.

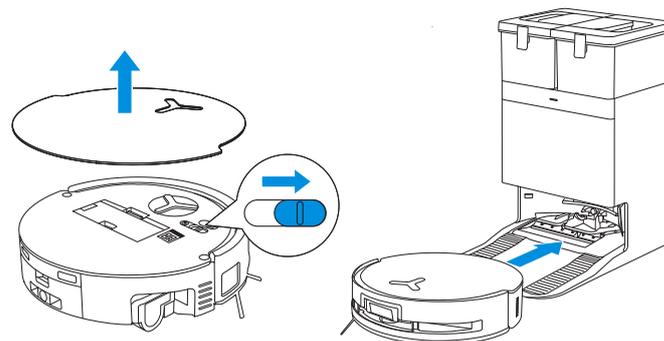


Note:

- If there are reflective objects such as mirrors and skirting lines near the OMNI station, the bottom 14 cm of them should be covered.
- Do not place the OMNI Station under direct sunlight.
- Place the Station in a location with a strong Wi-Fi signal.

3 Power ON and Charge the Robot

Turn on the Power Switch under the robot's cover ('I' indicates power on, and 'O' indicates power off). Place the robot in front of the station, ensuring the Station is connected to a power supply. Use the ECOVACS HOME App or voice command to recall the robot to start charging at the OMNI station, or long press the robot button  for 3 seconds, and it will return to the station to charge.



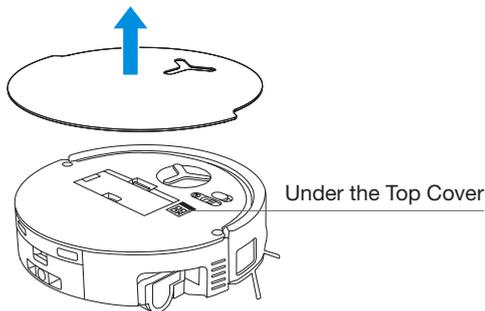
Note:

- The robot can't be charged when the power is turned off.
- After the robot finishes its cleaning task, it is recommended not to power it off but to keep it charging, to better prepare for the next cleaning session.
- It is recommended that the robot start cleaning from the OMNI station. Do not move the OMNI station while cleaning.

4 Download the ECOVACS HOME App

Download the ECOVACS HOME App to enjoy more features.

You may scan the QR Code on the robot to download the App.



Or search for the ECOVACS HOME in your mobile app store to download the App.



Note: Follow the guide of the App to register, log in, and connect the product with the App.

5 Connect Robot with App

Via Bluetooth: Turn on the robot and mobile phone Bluetooth. Allow the App to obtain mobile phone Bluetooth permission. Tap to scan the QR Code on the robot or tap  or  in the App to find the nearby robot.

Via Wi-Fi: You can also choose to connect the robot with the App through other methods according to the prompts on the App's page.

Note: Please connect via Bluetooth for a better experience.

Wi-Fi Network Requirements:

- You are using a 2.4GHz or 2.4/5 GHz mixed network.
- Your router supports 802.11b/g/n and IPv4 protocol.
- Do not use a VPN (Virtual Private Network) or Proxy Server.
- Do not use a hidden network.
- WPA and WPA2 using TKIP, PSK, AES/CCMP encryption.
- WEP EAP (Enterprise Authentication Protocol) is not supported.
- Use Wi-Fi channels 1-11 in North America and channels 1-13 outside North America (refer to local regulatory agency).
- If you are using a network extender/repeater, the network name (SSID) and password are the same as your primary network.
- Please enable the WPA2 on your router.

Wi-Fi Indicator Light

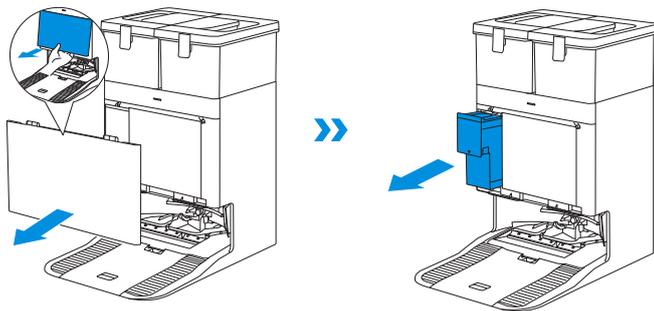
	White Flashing Slow	Disconnected to Wi-Fi
	White Flashing Fast	Connecting
	Solid White	Connected to Wi-Fi

Please note that to access smart features such as remote startup, voice interaction, 2D/3D map display and control settings, and personalized cleaning (features may vary depending on the product), you'll need to download and use the ECOVACS HOME App, which receives constant updates. You must agree to our Privacy Policy and User Agreement before we can process some of your basic and necessary information and enable you to operate the product via the ECOVACS HOME App. Without your agreement, some of the aforementioned smart features cannot be accessed through the ECOVACS HOME App. Nevertheless, you can still use the products' basic functions for manual operation.

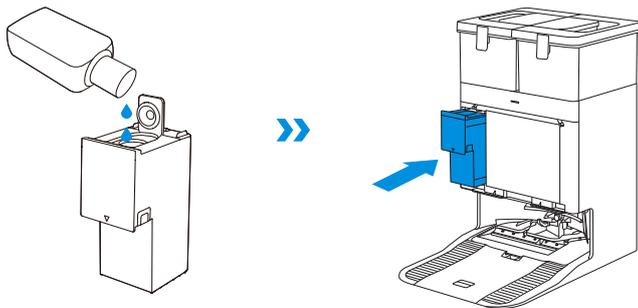
6 Add Cleaning Solution (sold separately)

For the Station with Solution Auto-refill Module, please follow the steps below:

1. Take off the dust container cover, pull out the cleaning solution unit, and place it on a level, hard surface.

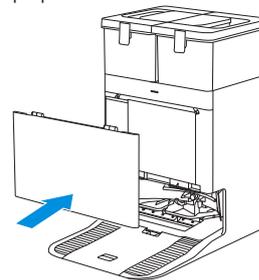


2. Unlid the cleaning solution unit and fill it with ECOVACS cleaning solution. Put the lid on and the unit back to the station.



Note: Cleaning solution is pumped automatically from the cleaning solution unit. Do not add cleaning solution to the water tanks.

3. Insert the top latch of the dust container cover into the slot, and then press downward to ensure a proper seal.



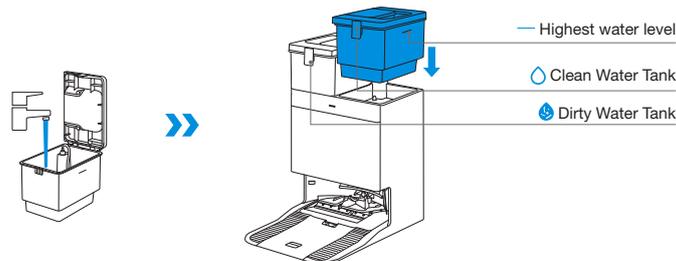
Note:

- Please use ECOVACS cleaning solution in case of malfunction.
- Please make sure that no foreign objects fall into the cleaning solution unit.

7 Clean Water Tank Refill and Cleaning Solution (sold separately)

For the Station without Solution Auto-refill Module, please follow the steps below:

Fill the clean water tank with water up to the maximum water level line. Then, using a 1:200 dilution ratio, pour an appropriate amount of cleaning solution into the tank with the bottle cap. Secure the tank cover, gently shake to mix, and then use.



Note:

- Use a clean, dry cloth to wipe off the water on the surface of the tank before putting it in place.
- Please lock the top covers of water tanks tightly before use.
- The water drops in the Water Tank are left over from the function test, please rest assured to use.
- If the product has a Solution Auto-refill feature, please follow the steps 6 to fill.

8 Start Cleaning

1. Start Mapping

Please use the ECOVACS HOME App or voice command to generate the map.

When creating a map for the first time, please follow the robot to help eliminate some minor issues. For example, the robot may get stuck under the furniture. Please refer to the following solutions:

1. Raise the low sitting furniture if possible;
2. Cover the bottom of the furniture;
3. Set up virtual boundary via the App.

When mapping, the robot will explore the house environment automatically. The exploration path may be different from cleaning path.

2. Start Cleaning

- The robot's water tank is automatically refilled through the OMNI station. Manual refilling is not needed.
- When mopping, the robot will recognize floor types and is able to lift mops automatically when encountering carpets. Please do not use the robot on shaggy rugs or carpets with fibres longer than 10 mm. It is recommended to fold up the shaggy rugs with fibres longer than 10 mm during the cleaning process, or go to Map > Carpet Cleaning Strategy in the ECOVACS HOME App to set the shaggy carpeted area as a No-Entry Zone.

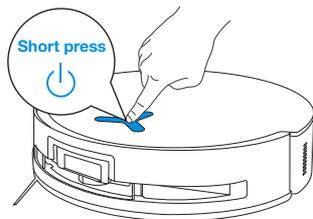
Before cleaning for the first time, please make sure the robot is in the OMNI station and fully charged. Tap  button on the robot to start cleaning. You can also use the ECOVACS HOME App or voice control to start cleaning.

3. Pause

Tap  on the robot to pause while it is working. You can also use the ECOVACS HOME App or Voice Control to pause the robot.

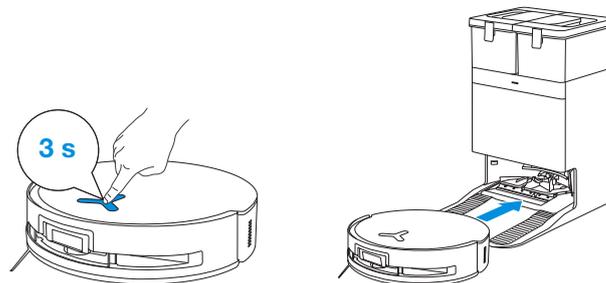
4. Wake up

After pausing for a while, all indicator lights on the robot will go out. To wake up the robot, short press . After stopping working for about 1h, the robot may enter standby mode.



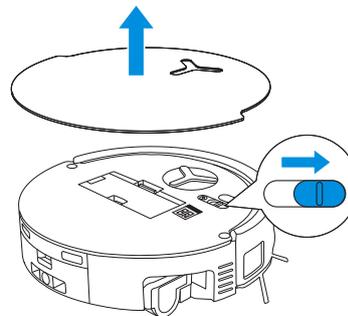
5. Return to OMNI Station

Use the ECOVACS HOME App or long press the robot button  for 3 seconds to recall the robot back to the Station for charging.



6. Deep Sleep Mode

The robot will enter Deep Sleep Mode to protect the battery if it stays outside the OMNI station for about 10h. Please switch OFF and ON to wake up the robot.



REGULAR MAINTENANCE

1 Maintenance Frequency

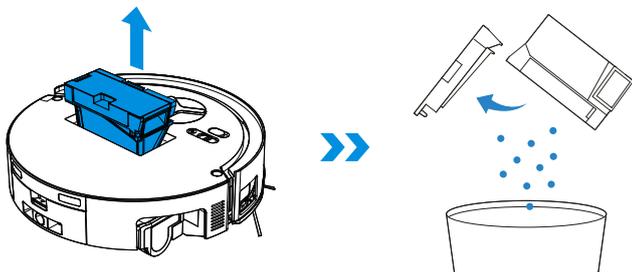
To ensure optimal performance, perform maintenance tasks and replace parts at the following frequencies:

Part	Maintenance Frequency	Replacement Frequency
Replaceable Roller Mop	Every week	Every 1-2 months
Water Tray	Every week	/
Dirty Water Box	Every week	/
Solution Auto-refill Module	Every month	/
Dust Bag	/	Every 2-3 months
Side Brush	Every 2 weeks	Every 3-6 months
Main Brush	Every week	Every 6-12 months
Filter	Every week	Every 3-6 months
Edge Sensor Universal Wheel Anti-drop Sensors Bumper Charging Contacts on Robot Charging Contacts on OMNI Station d-ToF Laser Module AIVI Camera	Approx. every month	/
Clean Water Tank	Every 3 months	/
Dirty Water Tank	Every month	/
Dust Container Inside	Every month	/
Body and Bottom of Station	Every month	/
Detachable Tray	Every 5 months	/

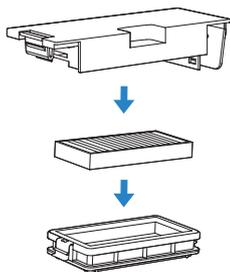
Note: Explore more accessories at the ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com>.

2 Dust Bin

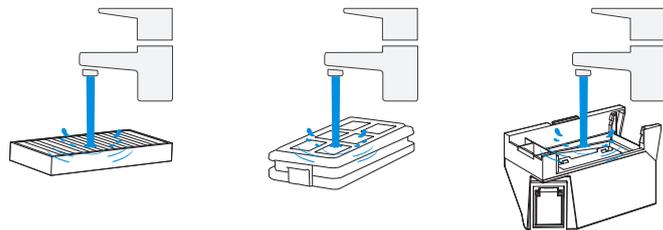
1. Remove the dust bin and then open its cover to empty the bin.



2. Open the dust bin cover to remove the filter and filter net.



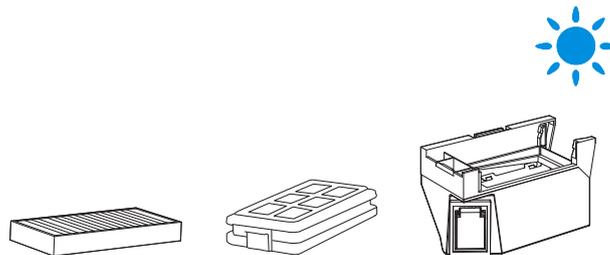
3. You can rinse the components. Afterwards, give them a good shake to remove leftover water droplets.



Note:

- Please rinse the filter with water as shown above.
- Do not use finger or brush to clean the filter.

4. Air-dry the dust bin and filter.

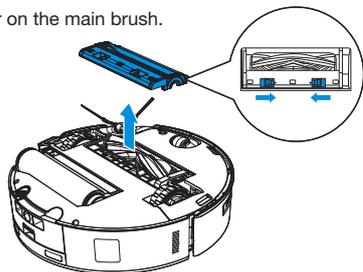


Note: Completely dry the filter before use.

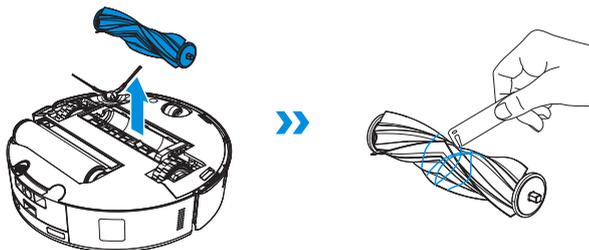
3 Maintain Main Brush and Side Brush

Clean the Main Brush.

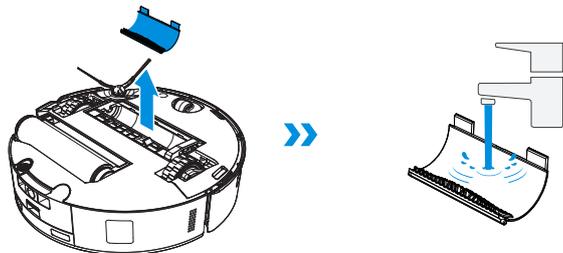
1. Remove the cover on the main brush.



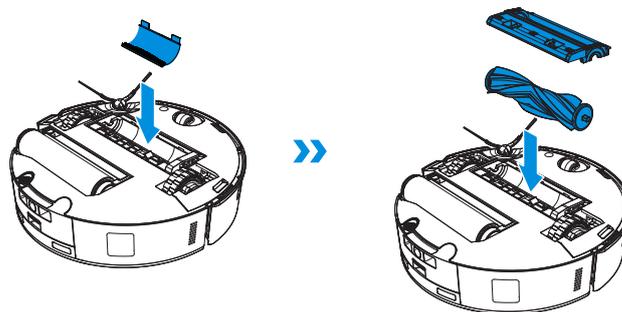
2. Remove and clean the main brush.



3. Remove and clean the brush comb.

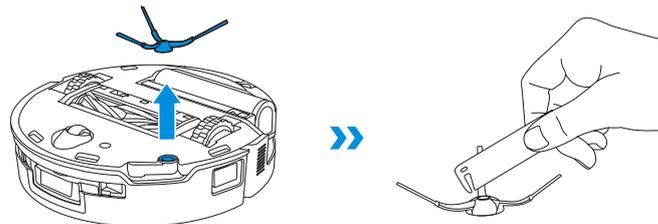


4. Install gear, main brush and main brush cover.



Clean the Side Brush.

Remove and clean the side brush.

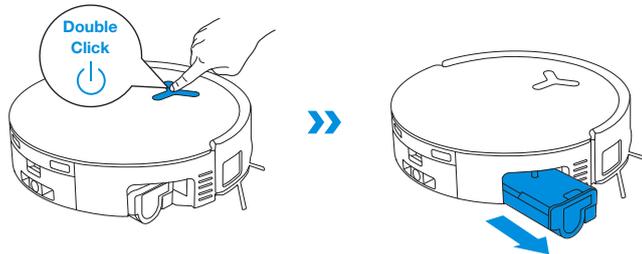


Note: Explore more accessories in the ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com>.

4 Roller Mop, Water Tray and Dirty Water Box.

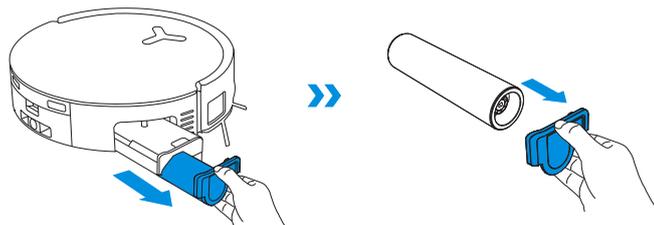
Clean the Roller Mop.

1. Double click  button to release roller mop component.

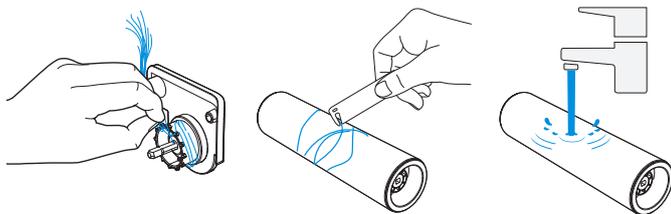


Note:Please avoid excessive force when handling the roller; it should be removed and placed with care.

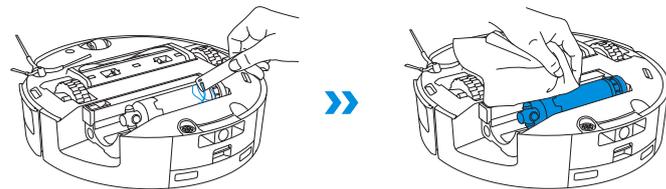
2. Press the latch to remove the roller mop.



3. Clean the roller mop.

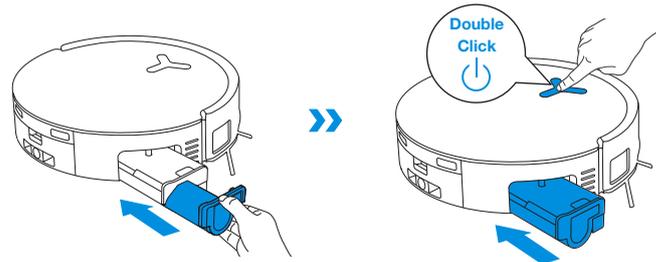


4. Clean the inside of roller mop.



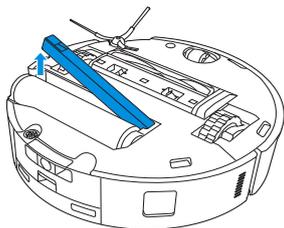
Note: Do not use water to clean the main body.

5. Push roller mop into roller end cover and double click  button to retract.



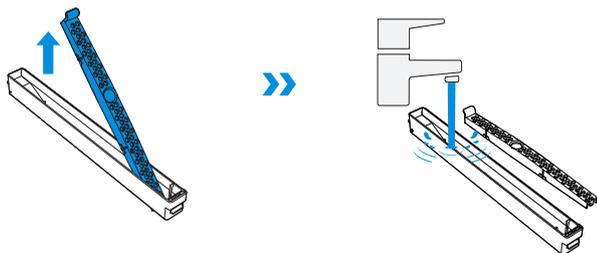
Clean Water Tray

1. Remove water tray.

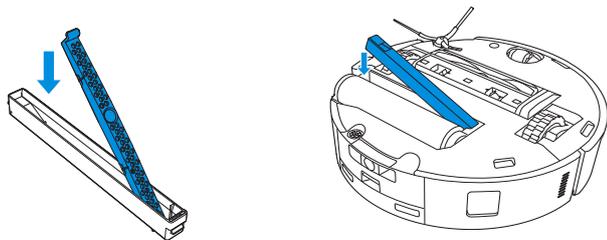


Note: A small amount of residual water may leak out when flipping the robot if it's not in drying mode.

2. Remove and clean water tray components.

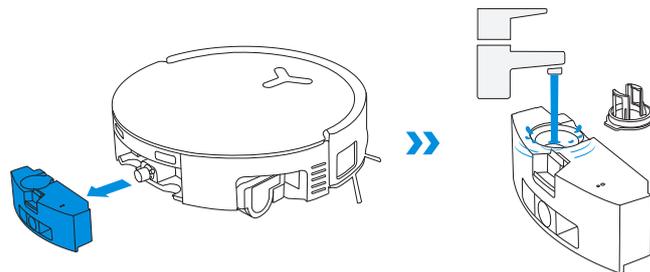


3. Please install water tray components as shown in the illustration.

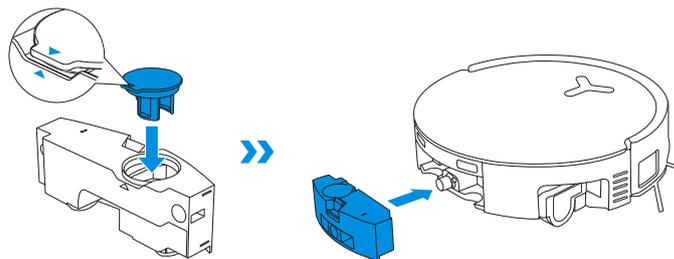


Clean Dirty Water Box

1. Remove and clean dirty water box.

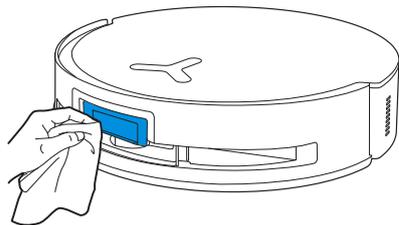


2. Press the dirty water box cover firmly in the guided direction until its plane is completely flush with the upper edge of the box to ensure a tight seal.

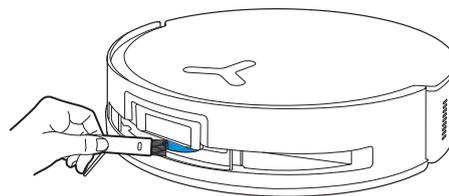


5 Maintain Other Components

Clean the Sensor Lens

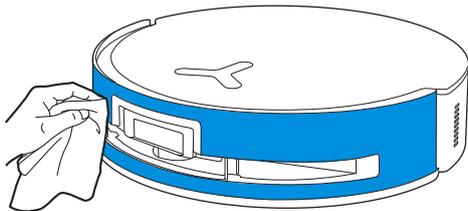


Clean d-ToF Laser Module



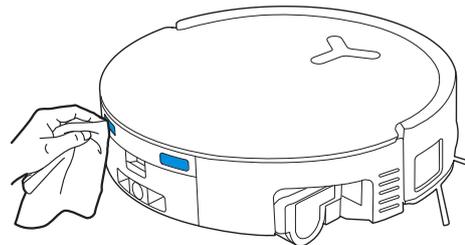
Note: Rotate the module lens to the front and clean it gently with a brush when cleaning the laser module.

Clean the Bumper



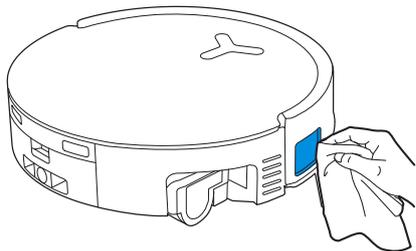
Note: Use a dry cloth when cleaning the anti-drop sensors and bumper to prevent water damage.

Clean Charging Contacts

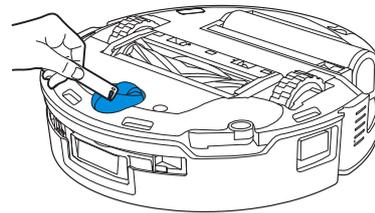


Note: Wipe the contacts with a dry cloth. Avoid using a wet cloth to prevent water damage.

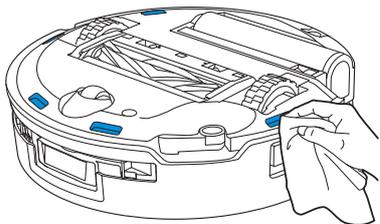
Clean Edge Sensor



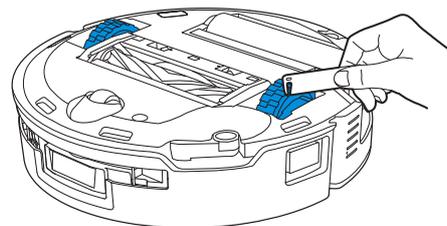
Clean Universal Wheel



Clean Anti-drop Sensors



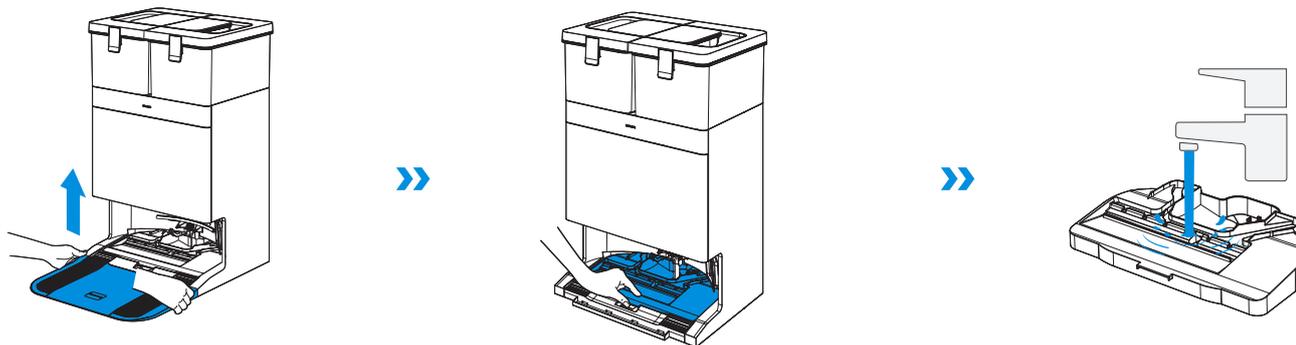
Clean Driving Wheels



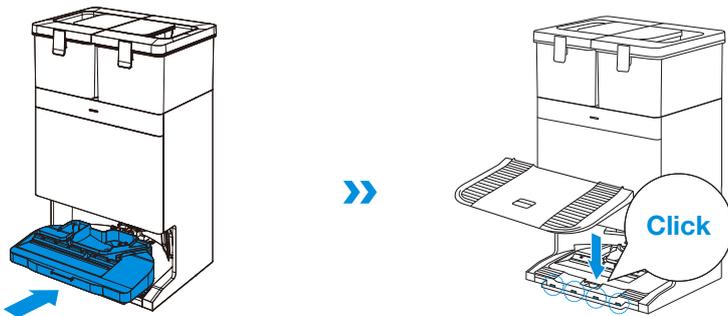
Note: Use a dry cloth when cleaning the charging contacts to prevent water damage.

6 Mop Washing Tray

1. Remove and clean detachable tray and base.



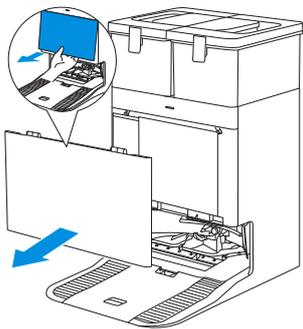
2. Install detachable tray and base.



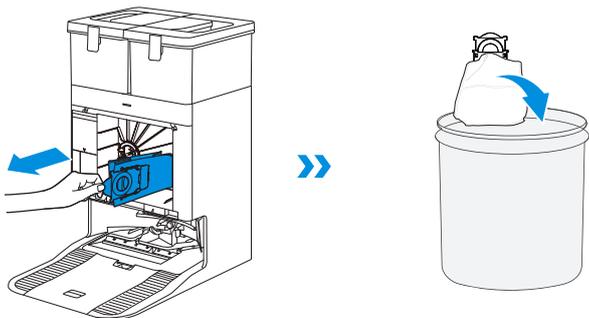
Note: Please install the detachable tray and base properly to prevent malfunction.

7 Dust Bag

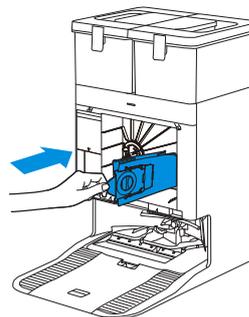
1. Remove dust container cover.



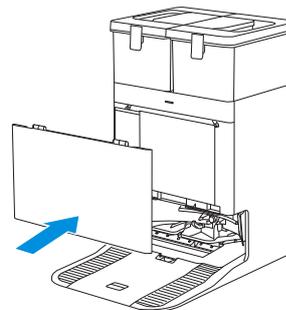
2. Remove the disposable dust bag in the direction of the arrow and discard it.



3. Clean the dust container with a dry cloth and install a new dust bin.



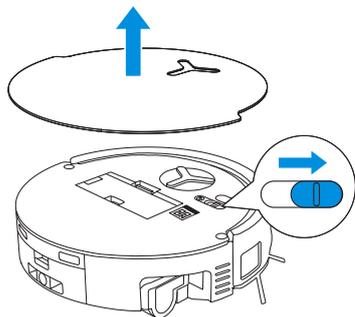
4. Insert the top latch of the dust container cover into the slot, and then press downward to ensure a proper seal.



Note: Hold the Handle to lift out the Dust Bag, which can effectively prevent dust leakage.

8 Storage

Please fully charge and switch OFF the robot before storage. Please recharge it every 1.5 months to prevent the battery from over-discharge.



! Please note that the robot cannot charge when powered OFF.

Note:

- After the robot finishes its cleaning task, it is recommended not to power it off but to keep it charging, to better prepare for the next cleaning session.
- If the battery is over-discharged or not used for a long time, the robot may not be charged. Please contact ECOVACS for help. Do not disassemble battery by yourself.
- If you do not use the product for a long time, keep the dirty water box, water tanks empty and the mop dry.

TROUBLESHOOTING

For the following possible issue, refer to the corresponding solutions.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
1	The robot is not able to connect to the ECOVACS HOME App.	Incorrect Wi-Fi username or password entered.	Enter the correct Wi-Fi username and password.
		The robot is not within range of your home Wi-Fi signal.	Make sure the robot is within range of your home Wi-Fi signal. Try to stay as close to the Wi-Fi signal as possible.
		The robot is not in the configuration state.	Press the reset button to connect the robot to your phone by Bluetooth. If failed, please press the reset button +  and to connect via the ECOVACS HOME App.
		There is no home Wi-Fi on the Wi-Fi list.	1. Check if the Wi-Fi name contains special characters. Please do not use special characters like !@#& ¥%^. 2. Do not use a 5 Ghz network.
		Incorrect app installed.	Please download and install the ECOVACS HOME App.
2	Unable to create the furniture map in the App.	Move the robot when cleaning might cause the map to be lost.	During cleaning, do not move the robot.
		Auto cleaning is not finished.	Make sure the robot automatically return to the OMNI station after cleaning.
3	The side brush drops out of place during use.	The side brush is not properly installed.	Make sure the side brush clicks into place.
4	No signal found. Unable to return to the OMNI station.	The OMNI station is incorrectly placed.	Please place the OMNI Station correctly according to the instructions in the [Quick Start] section.
		The OMNI station is out of power or moved.	Check whether the OMNI station is connected to the power supply. Do not move the OMNI Station.
		The robot does not start cleaning from the OMNI station.	It is recommended that the robot starts cleaning from the OMNI station.
		The charging route is blocked. For example, the door of the room with the OMNI station is closed.	Keep the charging route clear.
5	The robot returns to the station before it has finished cleaning.	The room is so large that the robot needs to return to recharge.	Please enable Auto Resume. For more details, please follow the App instructions.
		In highly complex home layouts, cleaning efficiency may decrease, possibly resulting in incomplete cleaning.	Tidy up the area to be cleaned by putting furniture and small objects in their proper place.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
6	The robot is unable to charge.	The robot is not switched ON.	Switch ON the robot.
		The robot's charging contacts are not connected to the OMNI station's charging contacts.	Make sure that the robot's charging contacts have connected to the station's charging contacts and  flashes. Check whether the robot's and OMNI station's charging contacts are dirty. Please clean these parts according to the instructions in the [REGULAR MAINTENANCE] section.
		The OMNI station is not connected to the power supply.	Make sure the OMNI station is connected to the power supply.
		Base has not been installed in place.	Refer to the [Quick Start] for correct installation.
7	The robot is very loud during cleaning.	The main brush/side brush is tangled, or the dust bin/roller mop/filter is blocked.	It is recommended to clean the main brush, side brush, dust bin, roller mop, filter, etc. regularly.
		The robot is in Strong or Max Mode.	Switch to standard mode.
8	The robot gets stuck while working and stops.	The robot is tangled with objects on the floor (electrical wires, curtains, carpet fringing, etc.)	The robot will try various ways to free itself. If it is unsuccessful, manually remove the obstacles and restart.
		The robot might be stuck under furniture with an entrance of similar height.	Please raise the furniture, set a physical barrier, or set a virtual boundary via the ECOVACS HOME App.
		The robot is stuck in a narrow area.	Tidy up your home, set a physical barrier, or set a virtual boundary via the ECOVACS HOME App.
9	The following problems appear when the robot is working: disordered cleaning route, deviation from the cleaning route, repeated cleaning, or missing of small areas to be cleaned. (If there is a large area that has not been cleaned temporarily, the robot will automatically clean the missed area. Sometimes the robot will re-enter a cleaned room, which may not be a repeated cleaning, but the robot finding any missed area.)	Objects such as wires and slippers placed on the ground block the robot.	Before cleaning, please tidy up scattered wires, slippers, and other objects on the ground as much as possible. If there are any missed areas, the robot will clean them by itself, please do not interfere (such as moving the robot or blocking the route).
		The off-road wheels may slip on the ground when the robot climbs steps, thresholds, and door bars, which can affect its judgement of the entire home environment.	It is recommended to close the door of the affected area and cleaning it separately. After cleaning, the robot will return to its starting location. Please feel confident in using this method.
		On freshly waxed or polished floors, as well as smooth tiles, there may be less friction between the off-road wheels and the floor.	Please wait for the wax to dry before cleaning.
		Due to different home environments, some areas cannot be cleaned.	Tidy up your home to ensure that the robot can enter the areas to be cleaned.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
10	Delay in remote control.	The Wi-Fi signal is poor, causing the video loading to be slow.	Use the robot in areas with good Wi-Fi signal.
11	After returning to the OMNI station, the robot does not empty its dust bin.	The Auto-Empty function has not been turned on in the ECOVACS HOME App.	Turn on the Auto-Empty function in the ECOVACS HOME App.
		Manually moving the robot back to the OMNI station may not trigger the Auto-Empty function.	It is recommended to allow the robot return to the OMNI station on its own. Please do not manually move it.
		In Do Not Disturb mode, the robot will not empty the dust after returning back to the OMNI station.	Turn off do not disturb in the ECOVACS HOME App or manually start dust-emptying.
		OMNI station detects a decrease in empty efficiency.	Replace the dust bag according to the [REGULAR MAINTENANCE] section and close the dust container. If the dust bag is not full when prompted by the App, you can put it back again.
		If the above possible causes have been ruled out, components of the OMNI station may be abnormal.	Please contact customer service for assistance.
12	Auto-Empty unsuccessful.	OMNI Station detects a decrease in empty efficiency.	Replace the dust bag according to the [REGULAR MAINTENANCE] section and close the dust container. If the dust bag is not full when prompted by the App, you can put it back again.
		The outlet of the dust bin is blocked by foreign objects.	Remove the dust bin and clear the foreign objects on the outlet.
13	The inner side of the dust container is dirty.	Fine particles pass through the dust bag and accumulate on the inner side of the dust container.	Clean the inner side of the dust container.
		The dust bag is broken.	Check and replace the dust bag.
		The dust bag is not properly installed.	Please install the dust bag properly.
		The dust container cover is not closed.	Please check if the dust container cover is closed properly.
14	Dust leakage occurs while the robot is working.	The outlet of the dust bin is blocked by foreign objects.	Remove the dust bin and clear the foreign objects on the outlet.
15	Roller mop can not rotate.	Roller mop is not properly installed.	Install the roller mop properly according to the [REGULAR MAINTENANCE] section.
		Roller mop gets stuck by foreign objects.	Clean the roller mop properly according to the [REGULAR MAINTENANCE] section.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
16	Driving wheels are stuck.	The driving wheels are entangled or stuck due to foreign objects.	Rotate and press the driving wheels to check for any wrapping or obstruction by foreign objects. If any foreign objects are found, please clean them promptly. If this issue persists, please contact customer service for assistance.
17	When mop washing tray is full of water that cannot be drained out, the voice reports that the mop washing Tray malfunction.	The dirty water tank is not properly installed.	Tap down on the dirty water tank to ensure it is properly installed.
		The sealing plugs in the dirty water tank are not installed properly.	Make sure that the two sealing plugs are properly installed.
		Mop washing tray is not properly installed.	Make sure the mop washing tray is properly installed.
		Mop washing tray base gets dirty.	Rinse the mop washing tray base with clean water.
		Check if the floating ball gets stuck when there is no water in the mop washing tray base.	Remove the mop washing Tray to put the floating ball back in its original place.
		The OMNI station cannot drain water normally.	Put the robot into the station and double tap  , if the issue persists, please contact our customer service for help.
		The suction port of the mop washing tray is blocked by foreign objects.	Ensure that there is no foreign object in the suction port of the mop washing tray.
	The voice prompt still exists after trying the above solutions.	Plug and unplug the OMNI station. If this issue persists, please contact customer service for assistance.	
18	Dirty water box malfunction.	The draining mouth of dirty water box gets blocked and the draining pole can't work normally.	Remove and empty the dirty water box, and then rinse it and reinstall. If this issue persists, please contact customer service for assistance.

Please contact our customer service for assistance if the problem persists despite the recommended solutions.

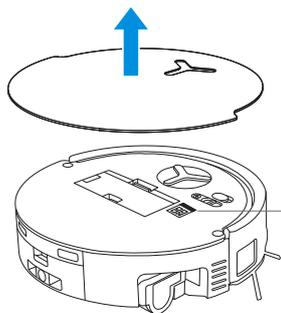
TECHNICAL SPECIFICATIONS

Model	DEX56		
Rated Input	20 V === 2 A	Charging Time	about 4.5 h
Station Model	CH2453F/CH2453H		
Rated Input	100 V ~ 50-60 Hz	Rated Output	20 V === 2 A
Rated Input Current (Charging)	1A	Power (Emptying)	7A
Power (Hot Water Washing Mop)	10A	Power(Mop-drying)	1.2A
Frequency Bands	2400-2483.5 MHz		
Networked Standby Power	Less than 2.00 W		

Output power of the wireless module is less than 100 mW.

Note: Technical and design specifications may be changed for continuous product improvement.

Explore more accessories at <https://www.ecovacs.com>.



Please use the mobile camera to scan the QR code and obtain the user guide.

Ecovacs Home Service Robotics Co., Ltd.
No.518 Songwei Road, Wusongjiang Industry Park, Guoxiang Street,
Wuzhong District, Suzhou, Jiangsu, China.

451-2417-A301